戦国妖狐

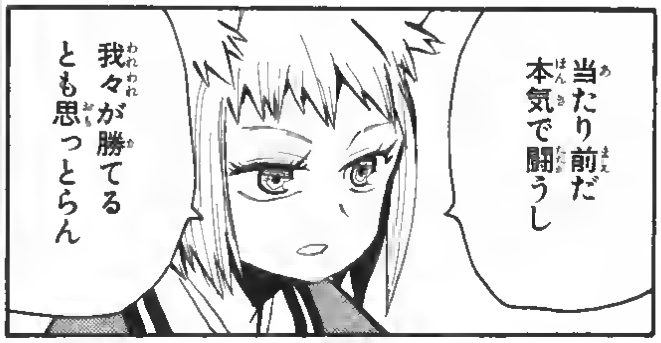
5

水上悟志

第25回 山の神⑤

姉上
なんだ
迅火

本当に本気ですか？
龍の男と闘うなど…
勝ち目はありませんよ


当たり前だ
本気で闘うし
我々が勝てるとも思っとらん

は!?

わけわかんねーこと言うなよ
お前が好機っつーから…
無論好機だ
通常勝ち目は皆無だが今回に限り皆無ではない
…今回に限りってまさか…
そうだ
山の神を闘いに巻き込む

第25回 山の神⑤

戻って
龍と闘う
恐らく今が
最大の好機だ

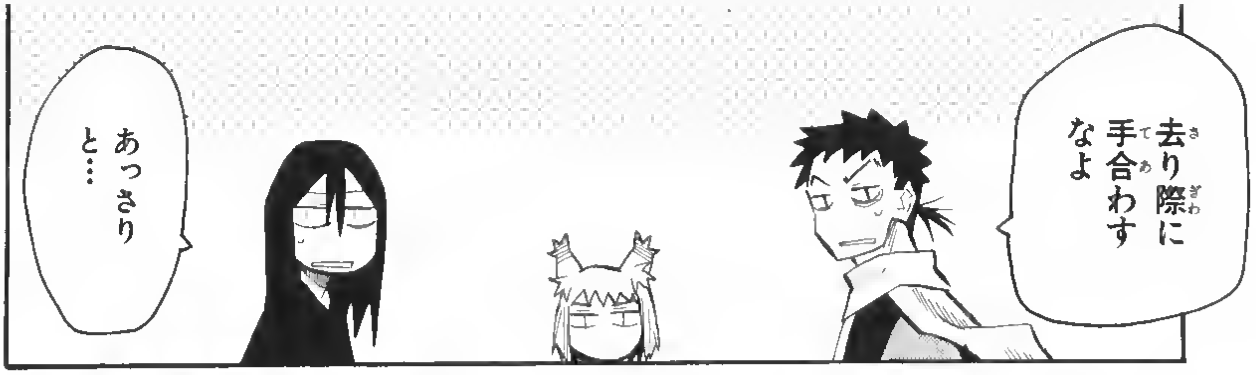
何言ってんだ
お前…

無茶です

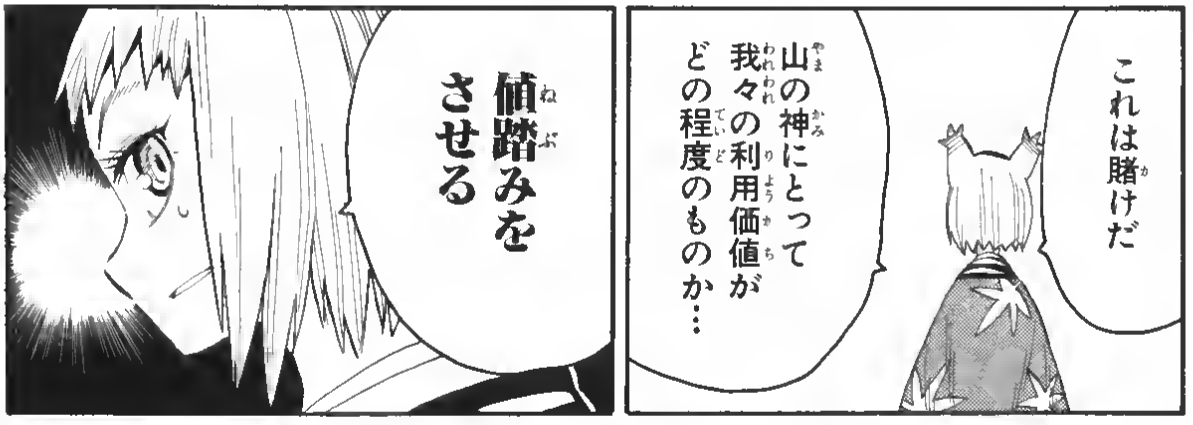
んー 一応言っとく
けど修行によって
上がったきみらの
霊力は
龍に匹敵する
ものではないよ?

承知
しとる

だが霊力腕力が
直接勝敗を
決めるのではない
おれにも考え
あってのこと
……
ふうん？
まいいけど
奇跡の経験者
が二人も居るし
ちゃんと
身に付いてれば
なんとかなる
かもね
……うん
止めないよ
行って
くれば？
ヌシ様
そんな…
とりあえず
今晩はここ泊まって
いきなよ
あ
迅火くんは
その着物
あげるから
じゃね
生きてたら
また
スゥ…
フッ


去り際に
手合わす
なよ
あっさり
と…

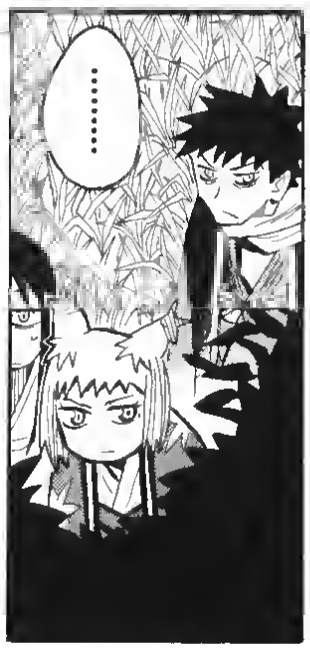
巻き込むって…
あの山神様が
手を貸してくれる
とは思えませんが…

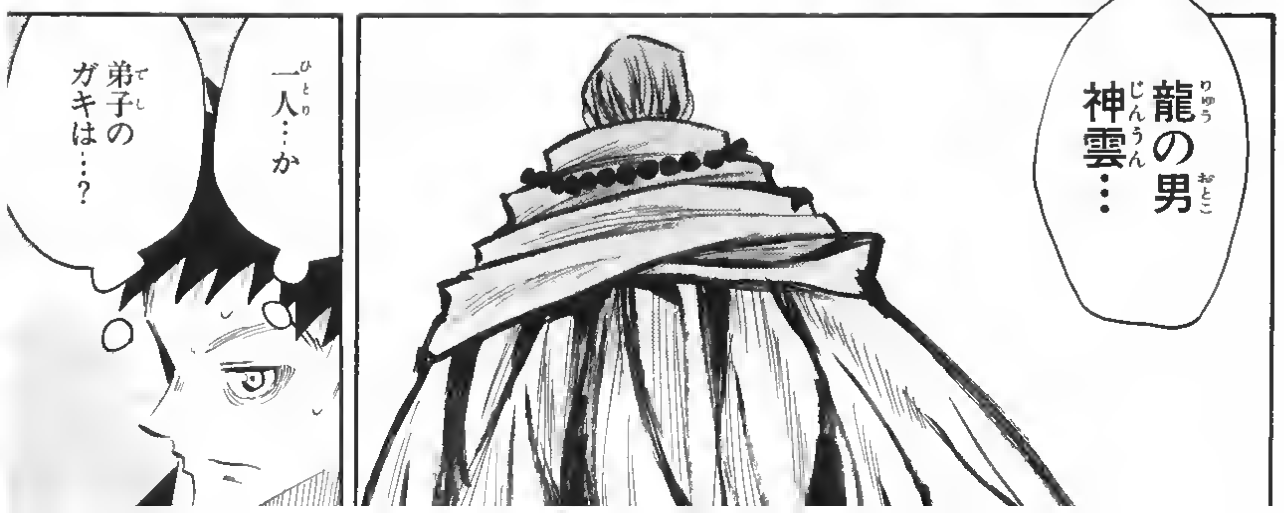

これは賭けだ
山の神にとって
我々の利用価値が
どの程度のものか…
値踏みを
させる

神頼みかよ
アテになるか？
あの神さんが
それでも頼める神が
居るうちだけできること
とにかくこの賭け
勝てば報酬はでかいぞ
他力本願とセコイが

作戦は
ひたすら
全力攻撃と
全力回避
回避に
比重
逃げながら
闘う
逃げる方向は
山神の洞

居た
奴だ


……


龍の男
神雲…
一人…か
弟子の
ガキは…？

二人ともいいな？
逃げながらだぞ
無理を感じたら
一目散だ

おれの狙い通りに
ならんでも
奴との戦闘経験値
だけでも無駄では
ない

そりゃもう
最初から
そのつもりですよ
命懸けは
しない主義なんで

おれは懸けても
いいぜ
奴らへの復讐の
ために命を使う
首だけになっても
かみついてやる

その気持ちは
袋男との
再戦まで
とっておけ

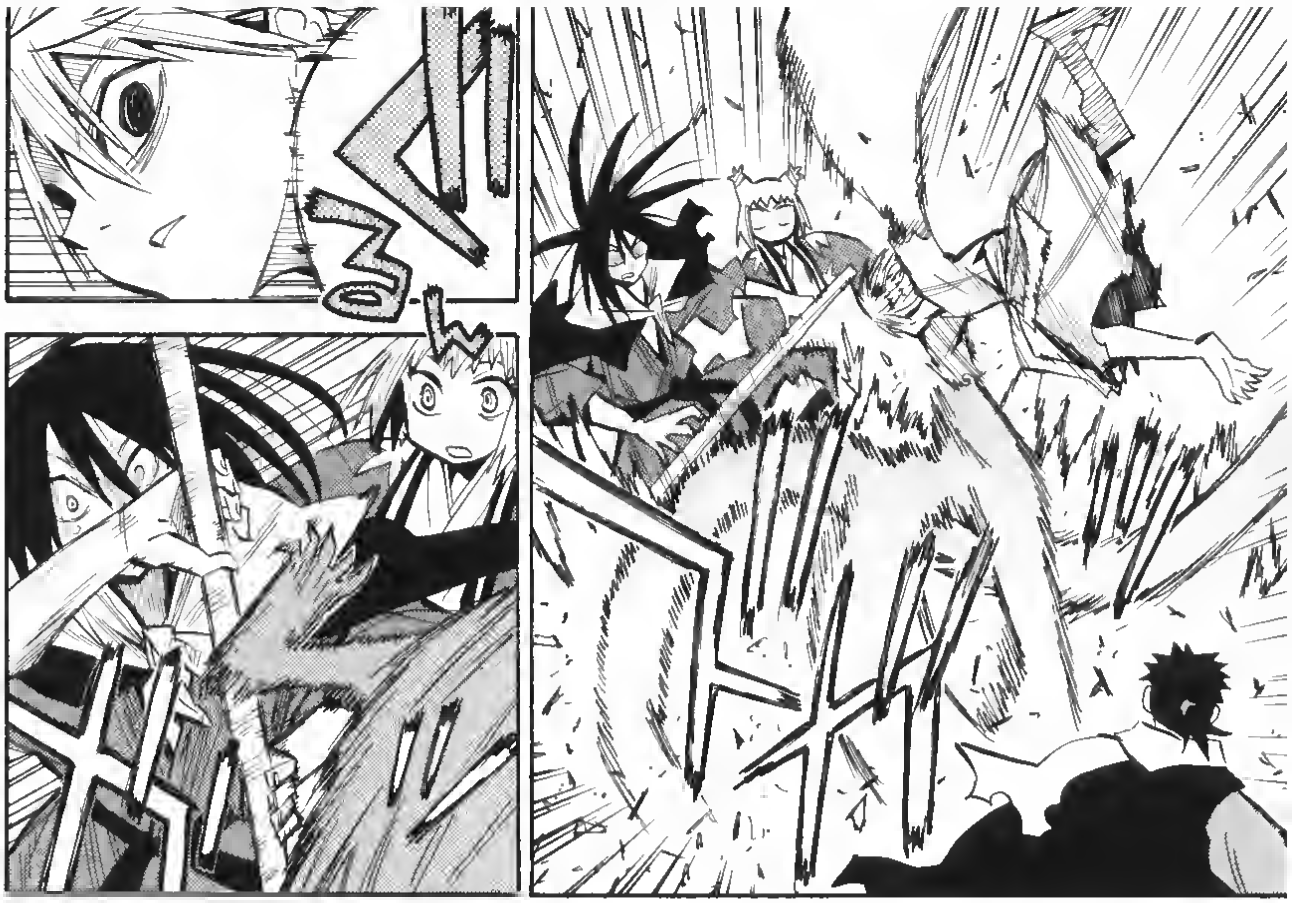
お前とて
ムダ死には
望まんから
好機という
言葉に
ひかれたのだろう？

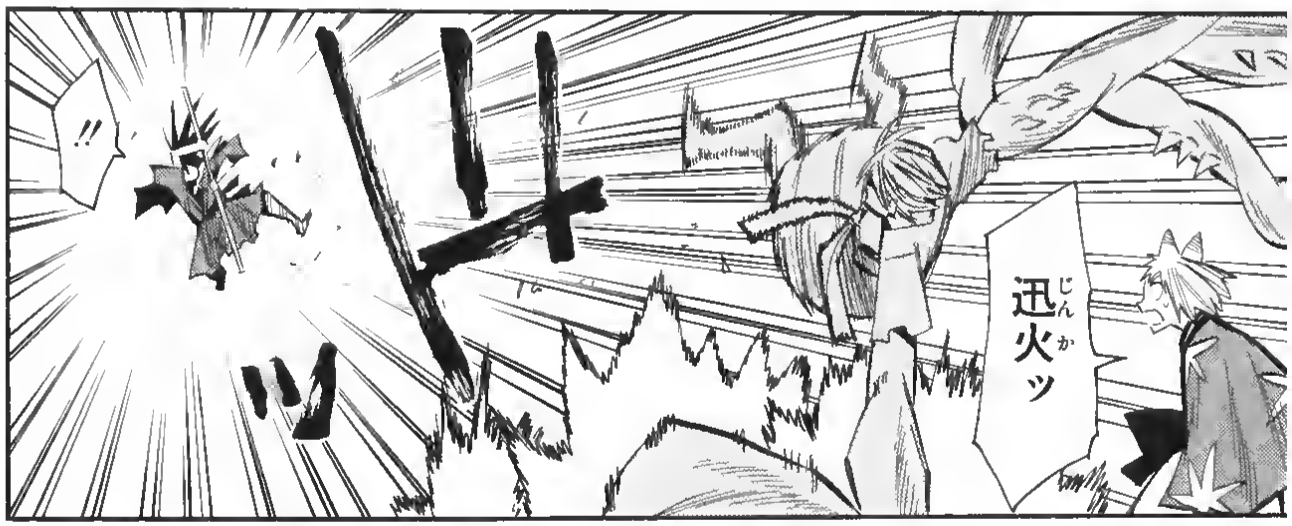
……

迅火

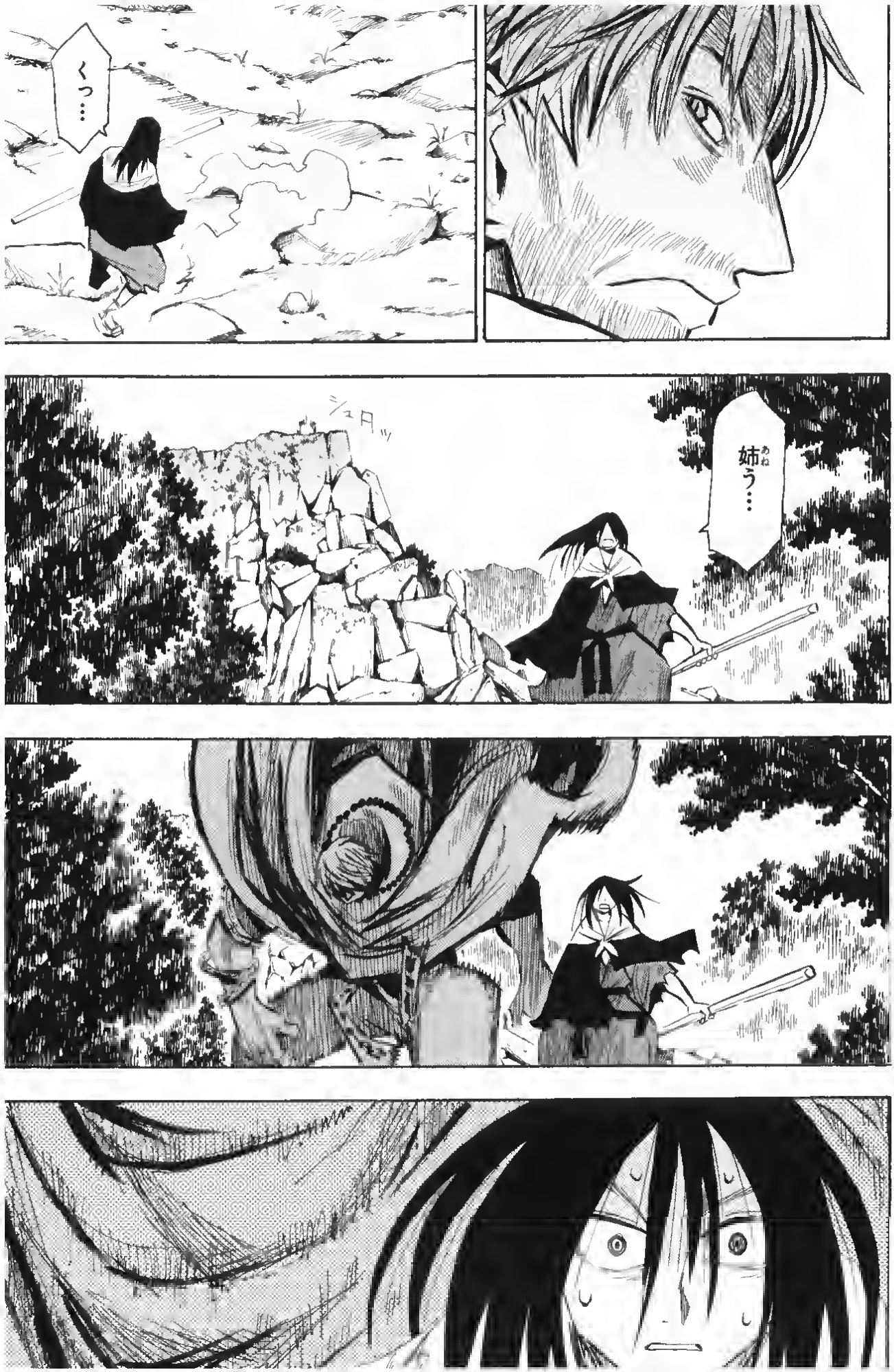
いくぞ
精霊転化
だ

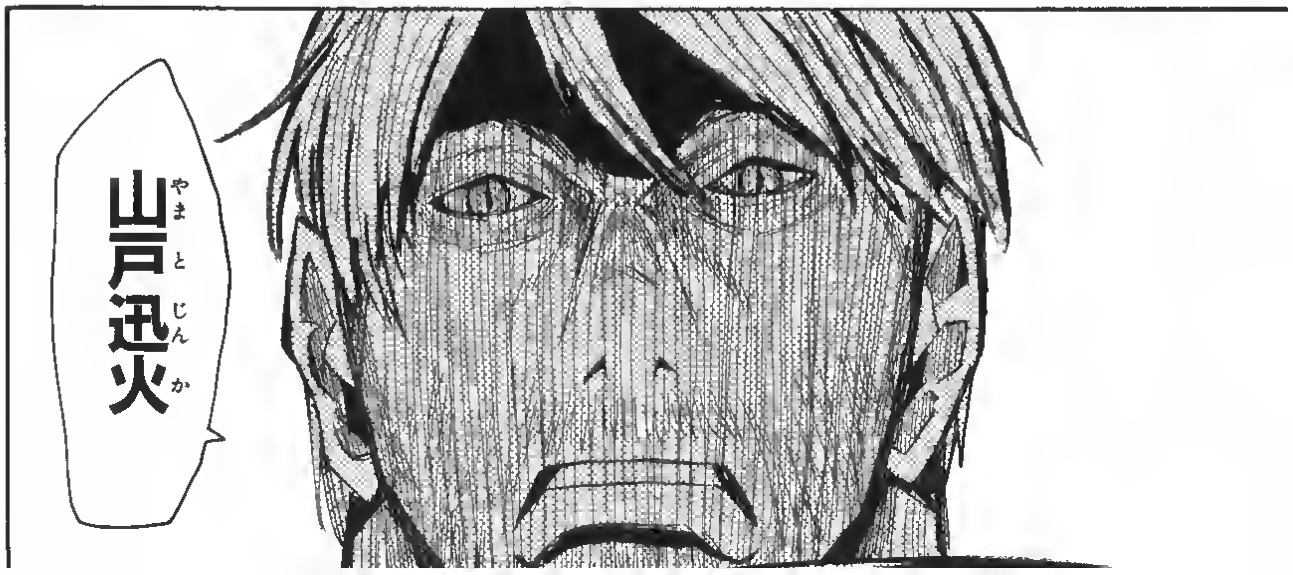
!!
あいつ!!

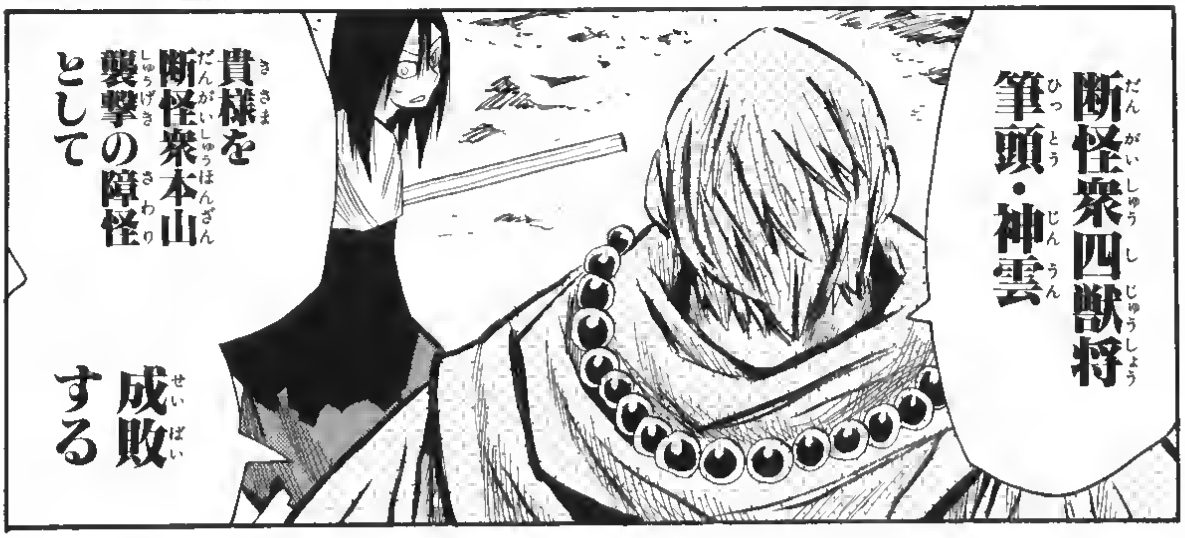



!!
迅火ッ

ガガ
ガッ

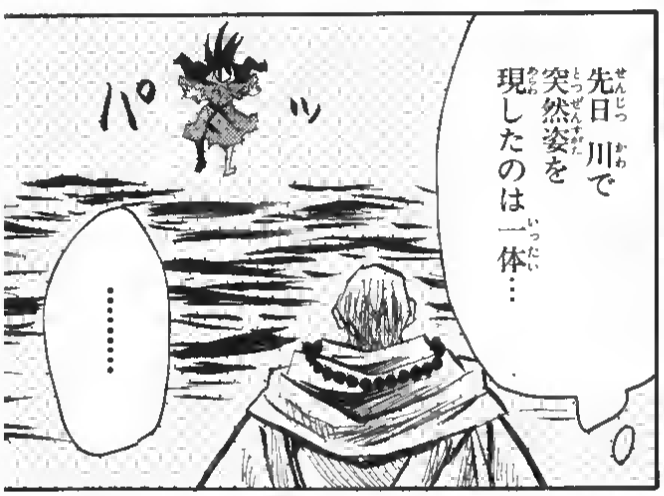

くっ…
姉(あね)う…


山戸迅火（やまとじんか）


断怪衆四獣将
筆頭・神雲
貴様を
断怪衆本山
襲撃の障怪
として
成敗
する

障怪……

……

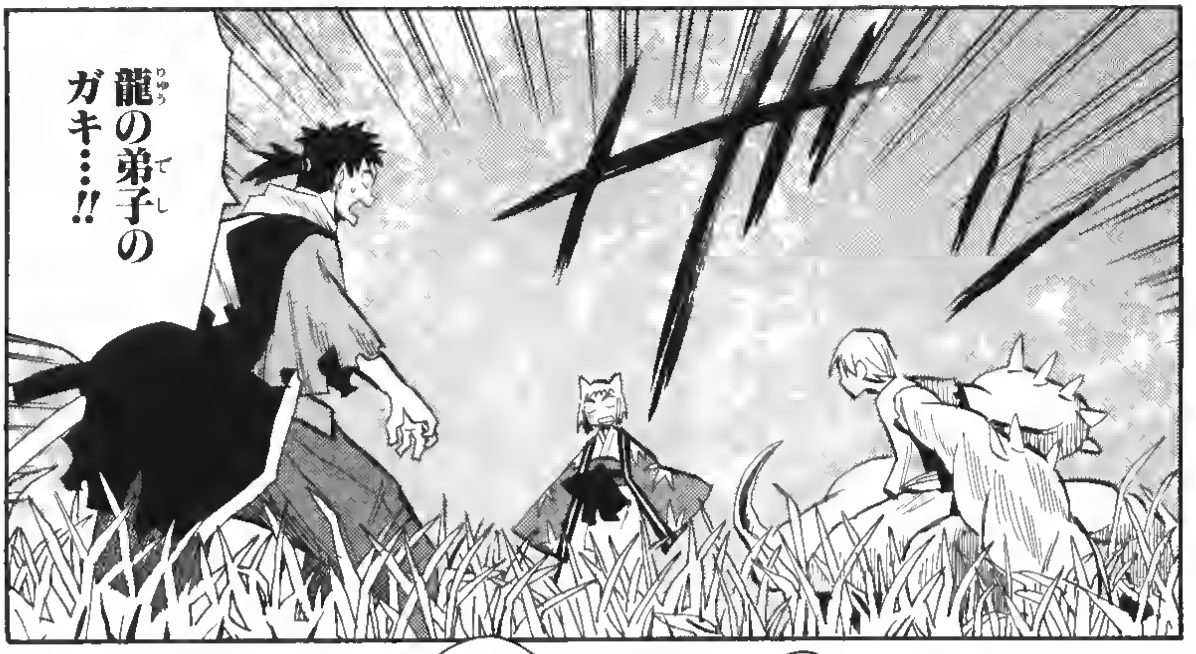

先日 川で
突然姿を
現したのは一体…
パッ
……

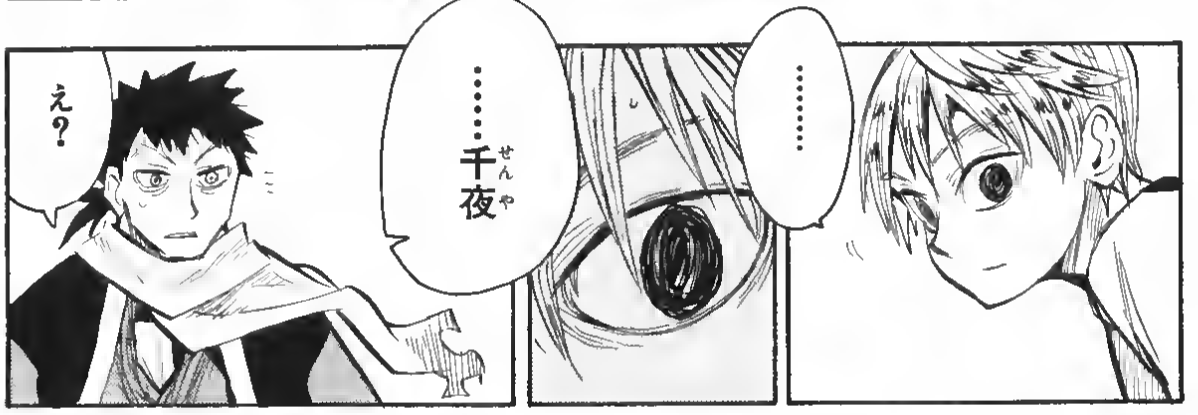
いや…もはや
どうでもいいことか
ミシ
ミシ

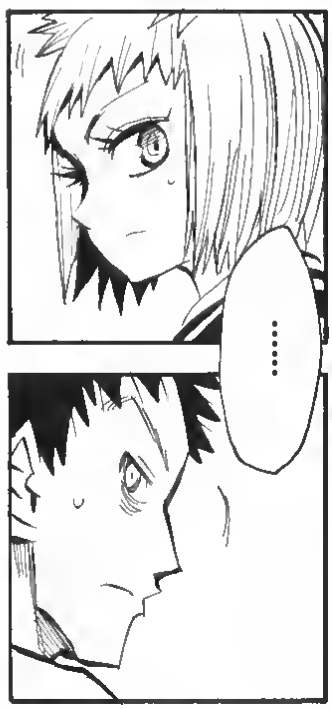
ギ
ギ

こうして改めて
対峙した以上
……

ただ
正義(せいぎ)が
行(おこな)われる
のみ


龍の弟子のガキ…!!


……
……千夜
え?


……

これより我が師が本山襲撃実行犯山戸迅火を成敗なさるので
ここで顛末を見届けるようにゆっくりむこうを向いてください
妙な動きをすると殺します

千夜といいます

まずい
格が違う
初撃で終わりだ

奇跡が起きた

断怪衆本山に単身
乗り込んだ迅火を
神雲は過大評価
していたためか
対峙すれば踏み込んで
くると思い
初撃を外した
二撃目

ハルキ
!!
続く奇跡(きせき)の一跡(いっせき)だが

……

ゴゴゴゴ

……

足場が予想以上に脆かった

偶然？地形の計算をしていたようには…

だが腕は確かと聞く

……

二度…

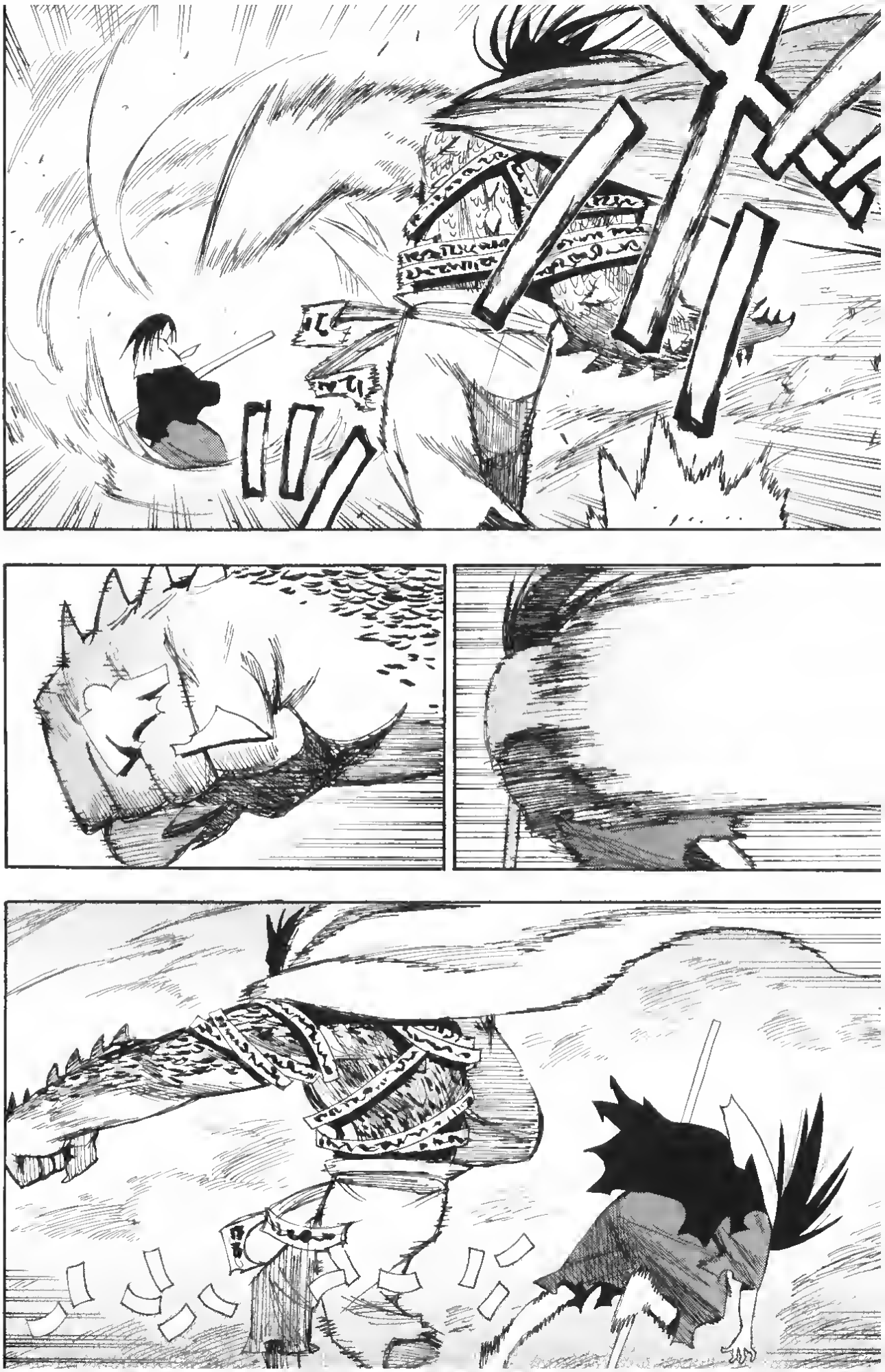
二度即死級の攻撃を免れた…

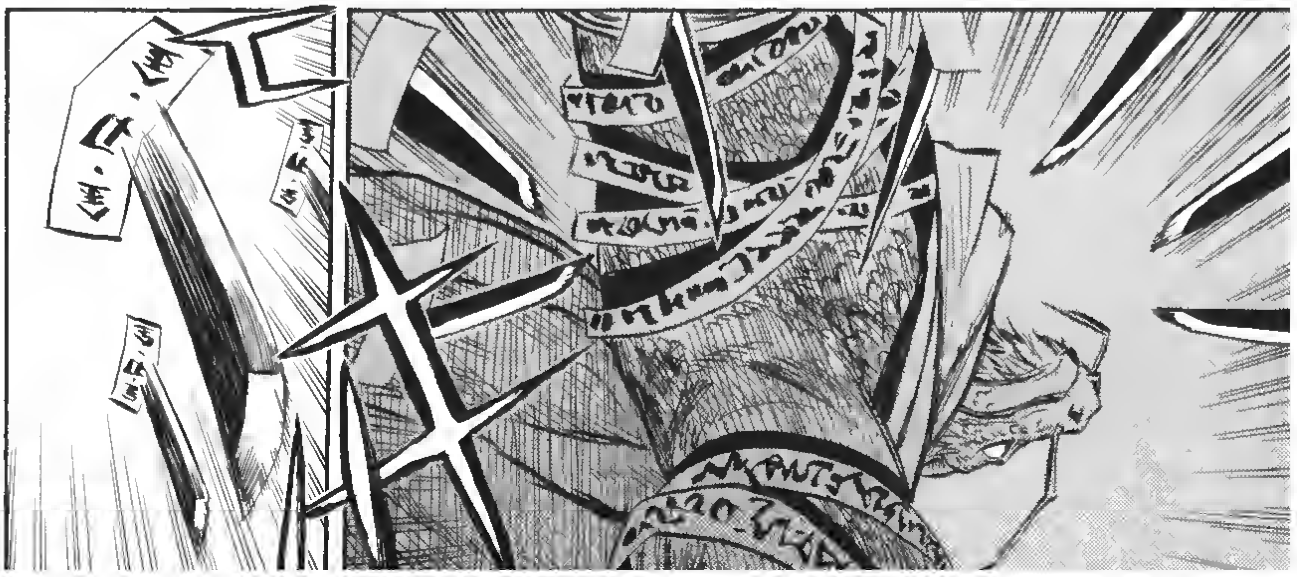
……

おめでとう!!

今一万通りの未来の中のキミが一人龍を倒した!!

何故
へっ
こんな時に
わ
笑い
が…
へひひ
なんだ…？
こいつは……
……
考えるな
過大評価も
過小評価も
しない
ただ打ち抜き
砕くのみ
そのための
拳!!
ザッ
スッ





なんて奴だ…
刃を…
蹴り折った……!?
!?
この希薄感…
回避した方も式の人形!?
本物は!?

!!
迅火(じんか)!!

迅火!?

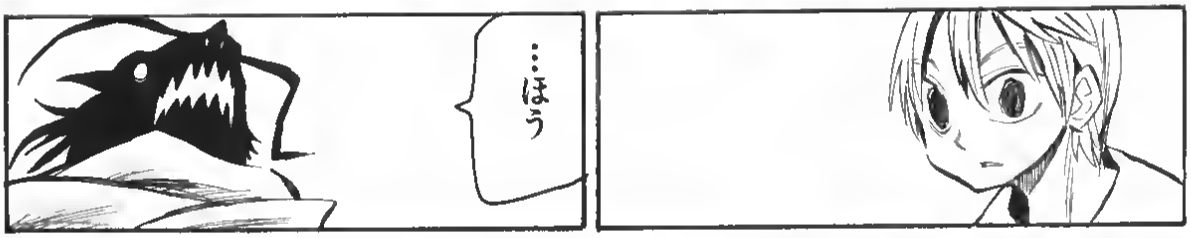
違う…
いつもの精霊態じゃ……尾!?

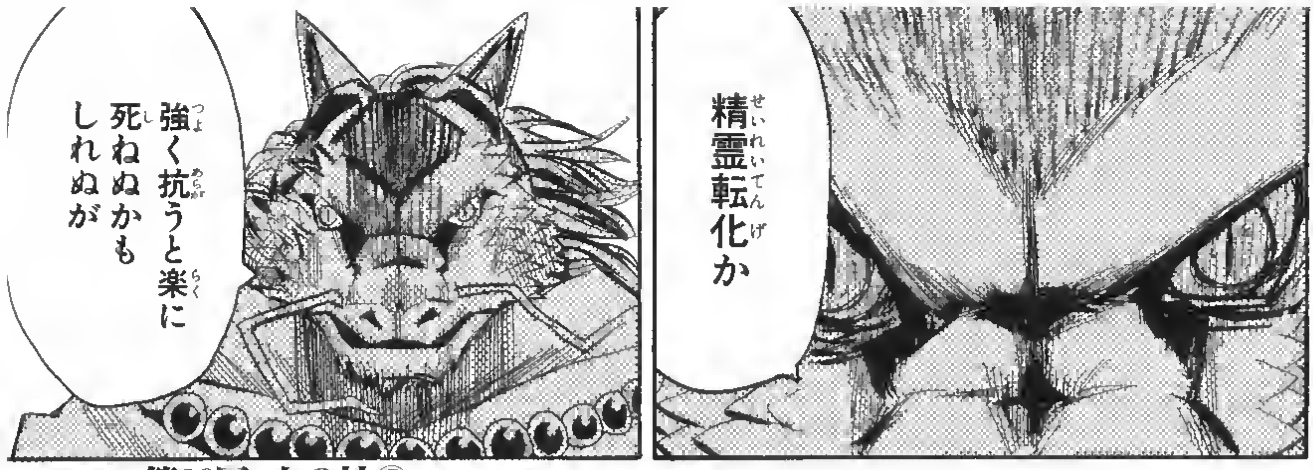
尾がいつもより一本多い…

……
五本!?

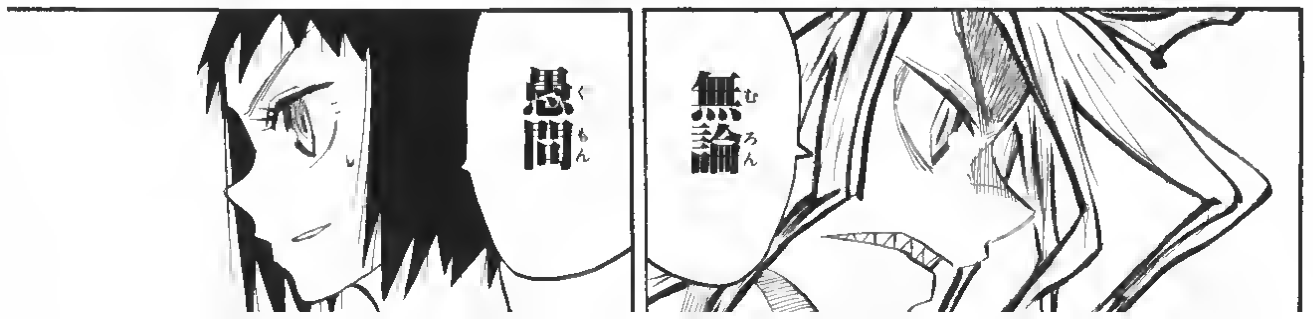
今までの精霊転化と漲る霊力が違う…
姉上…どんな修行を？

なに思考と瞑想で気を練っただけだ
主観時間で10年程な


…ほう

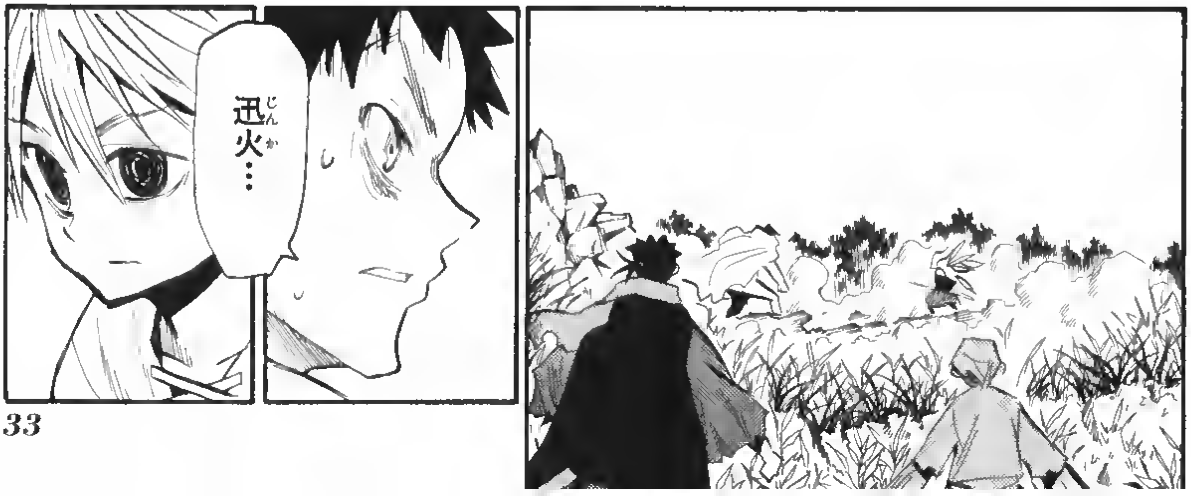

精霊転化か
強く抗うと楽に
死ねぬかも
しれぬが

抗うのだな
山戸迅火よ


愚問
無論

第26回 山の神⑥

姉上
下がって
ああ
5本目の
尾か…
使える
あの奥義は
…どうでしょうね
やるだけやります


迅火…

…以前の私の霊力を100として
現在は320~前後…
強化は劇的!……だが
龍の男は900~1200
誤差幅だけで
こちらの霊力に匹敵!!
相変わらず
絶望的!!
どう切り抜ける!?

…よく練られた
霊気…
大したものだ
年経れば
道錬のごとき
豪傑となったろうに
……惜しい

だが私は
私の愚かさを
知っている
故に一度決めたら
直進するのみの
飛び矢となる
貴様は
ここで
殺す

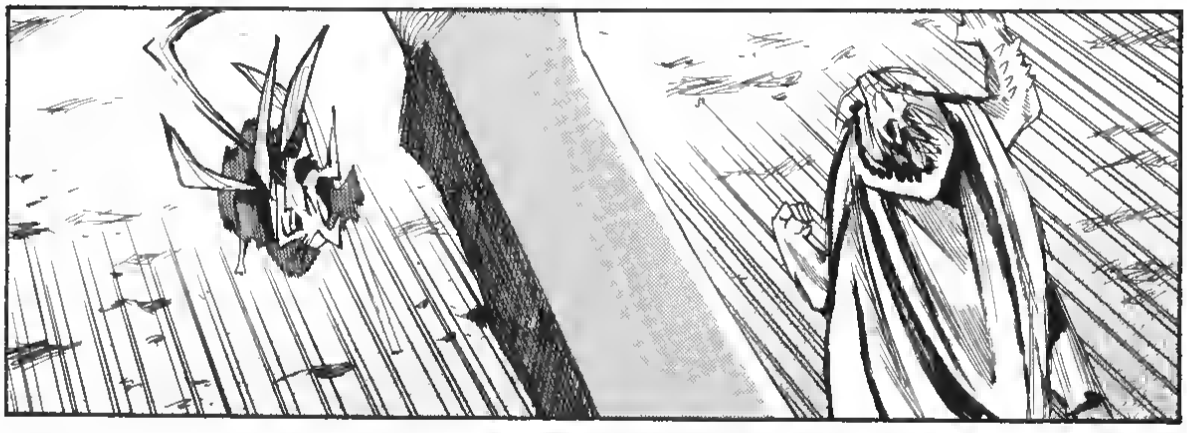
勝負は一瞬!!
初手が重要…
焔姫…土公…いや……

私の器でできる
贈り物は初手の発動を
見送ってやることくらいだ
来い!! 若き武士!!

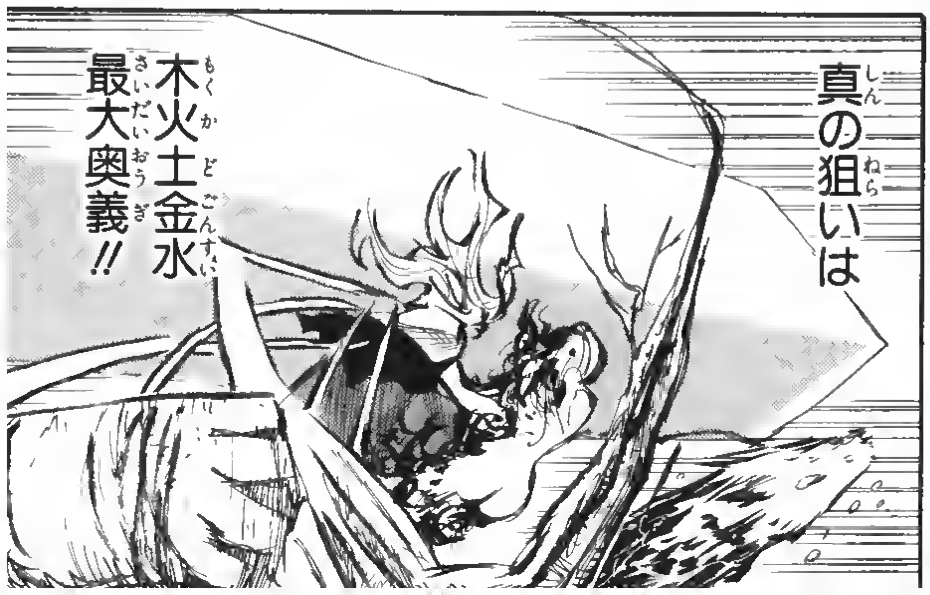
五本目の尾!!
斬り伏せ
金将刃!!

剣か
土公・焔姫
地翁・水龍に
続く最後の
五行技!!
金将!!
初手に
大技など
当たらぬ!!
さらば!!

いない!?



金将は
側面を
獲るための
布石!!

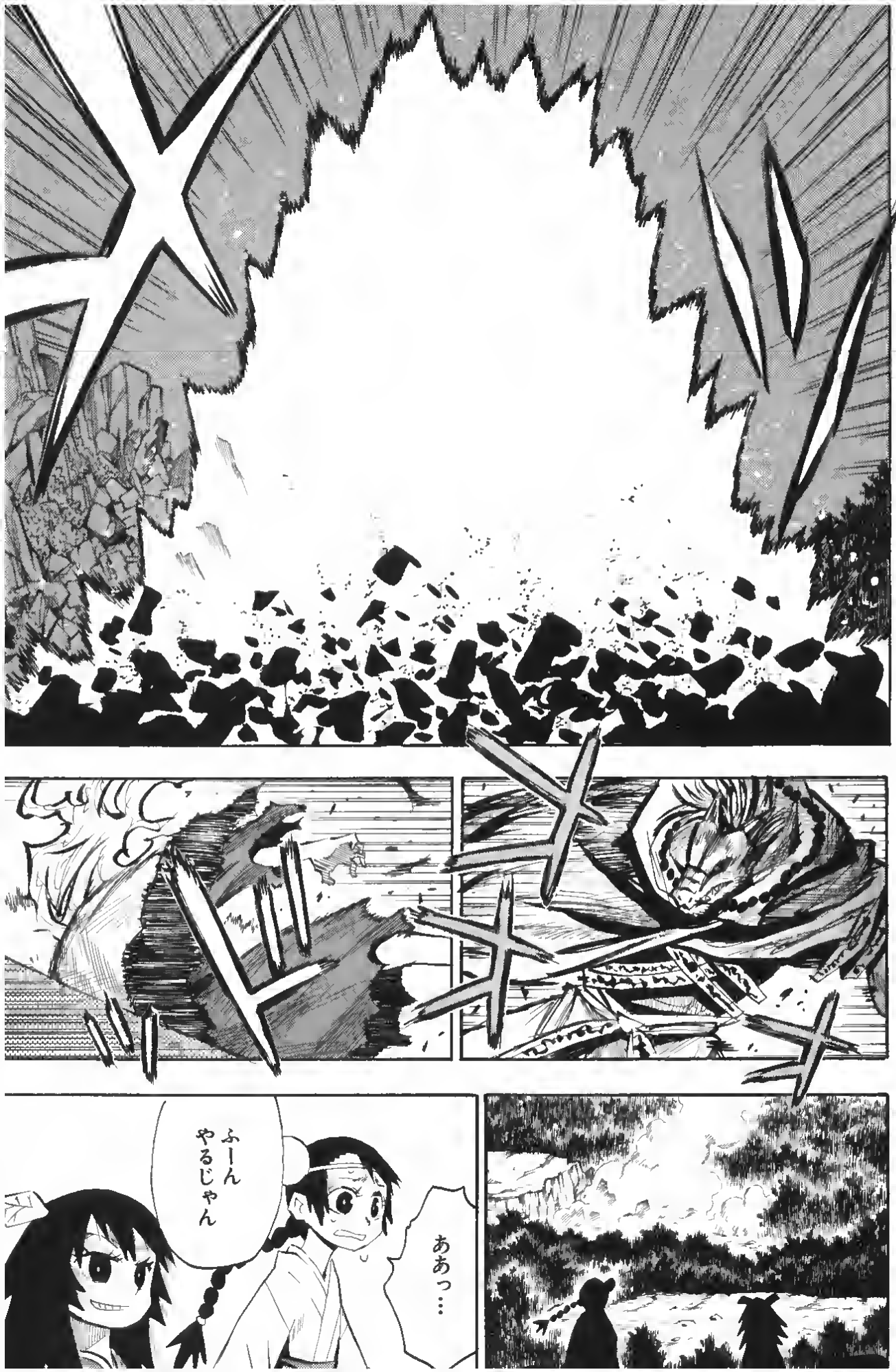

真の狙いは
木火土金水
最大奥義!!

使えた!!
最後の金将で
五行揃った
大技を束ねた
最強の霊力塊!!

今考えうる限り
迅火の放てる
最大火力の一撃!!

五行魂(ごぎょうこん)!!

ぬうおおお
!!
破軍掌(はぐんしょう)!!

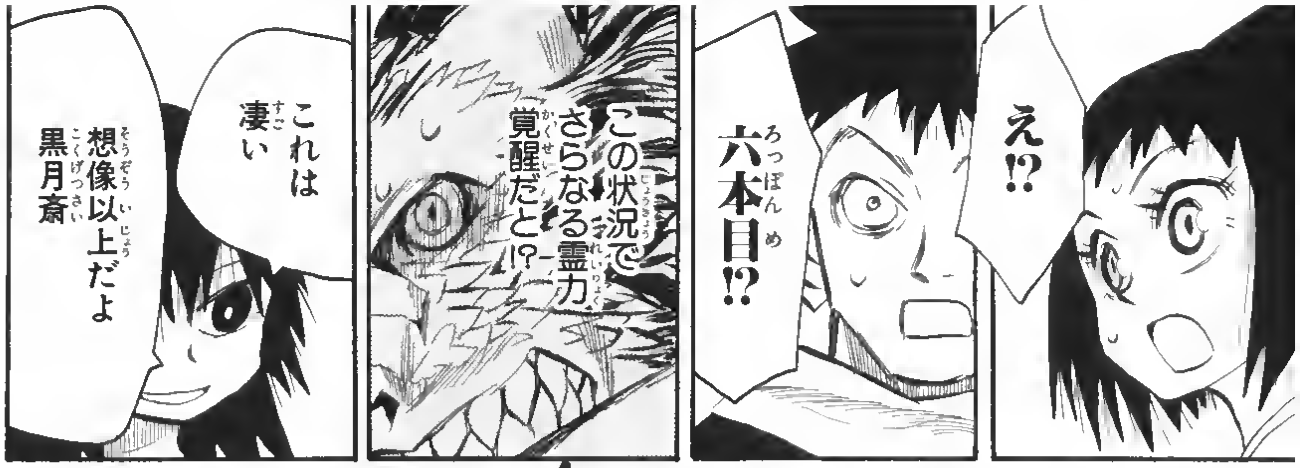

ああっ…
ふーん
やるじゃん

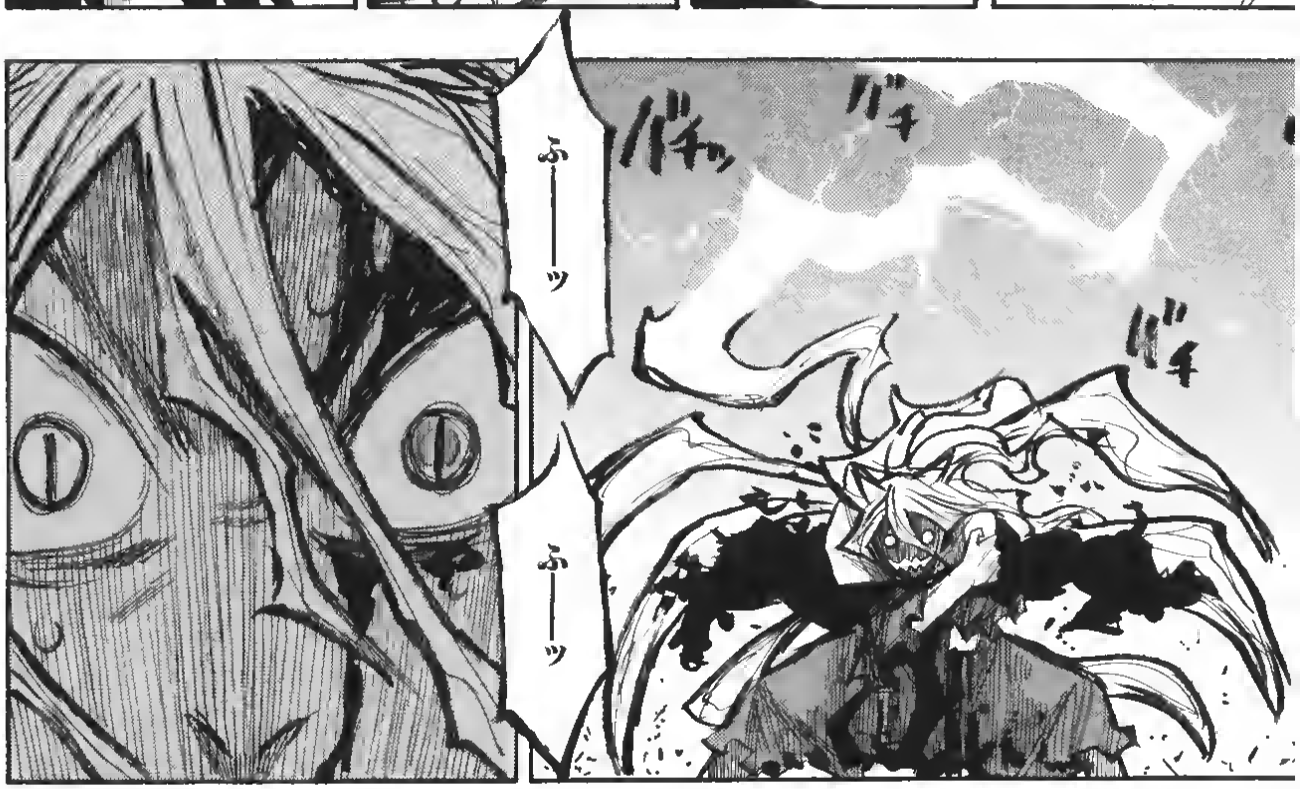
3倍以上も
霊力が違う相手に
左腕一本で傷み分ける
なんてさ

迅火!!

神雲様!!

こっちの最大火力が
奴のとっさの技と互角…!!
ぐ
まずい
血の量が
死ぬ
死ぬ
死ぬ
う
あ
あ
あ
あ!!
死ぬ
もの
かあああ
あ!!
バチ
バチ


え!?
六本目!?
この状況で
さらなる霊力
覚醒だと!?
これは
凄い
想像以上だよ
黒月斎


ふ――ッ
ふ――ッ

雷の尾!?
私の破軍掌と
互角の大技といい
この男は
この男の
未来は…

なんとしても
今!!
断たねば!!

うおおお!!
滅神奥義(めつじんおうぎ)!!
磨海龍塵脚(まがいりゅうじんきゃく)!!
がぁぁぁぁ…

!?
はい
そこまで
来た!!
山の神!!

迅火!!
山の神!?
神雲様の奥義が…
止められた…!?
ぼくの山でそんな術を使われるのはちょっとね
迅火くんもカミナリは控えてもらいたいな
これは…たまの狙い通り
山の神に値踏みをさせて戦闘に巻き込むことに成功したのか…!?
しかしなんて奴だ…!!
あの一瞬であんな山みたいなものを出現させるなんて…!!
無茶したな
だが届いたよきみの面白さ
生かしてやろう
はあ
はあ

神の利用料は

高価いけどね

……!!

ぬう

おおおッ

続けるの？
謝って逃げちゃいなよ
ぼくには勝てないと思うよ？

迅火くんの霊力計測の基準を採用すると
術など使ったキミの今の霊力は700ほどだけど

ぼくのこの
分神の霊力は
4800だ

放たれた矢
ゆえ退けぬ!!

邪魔
されるな
神よ!!

いい武人
だね

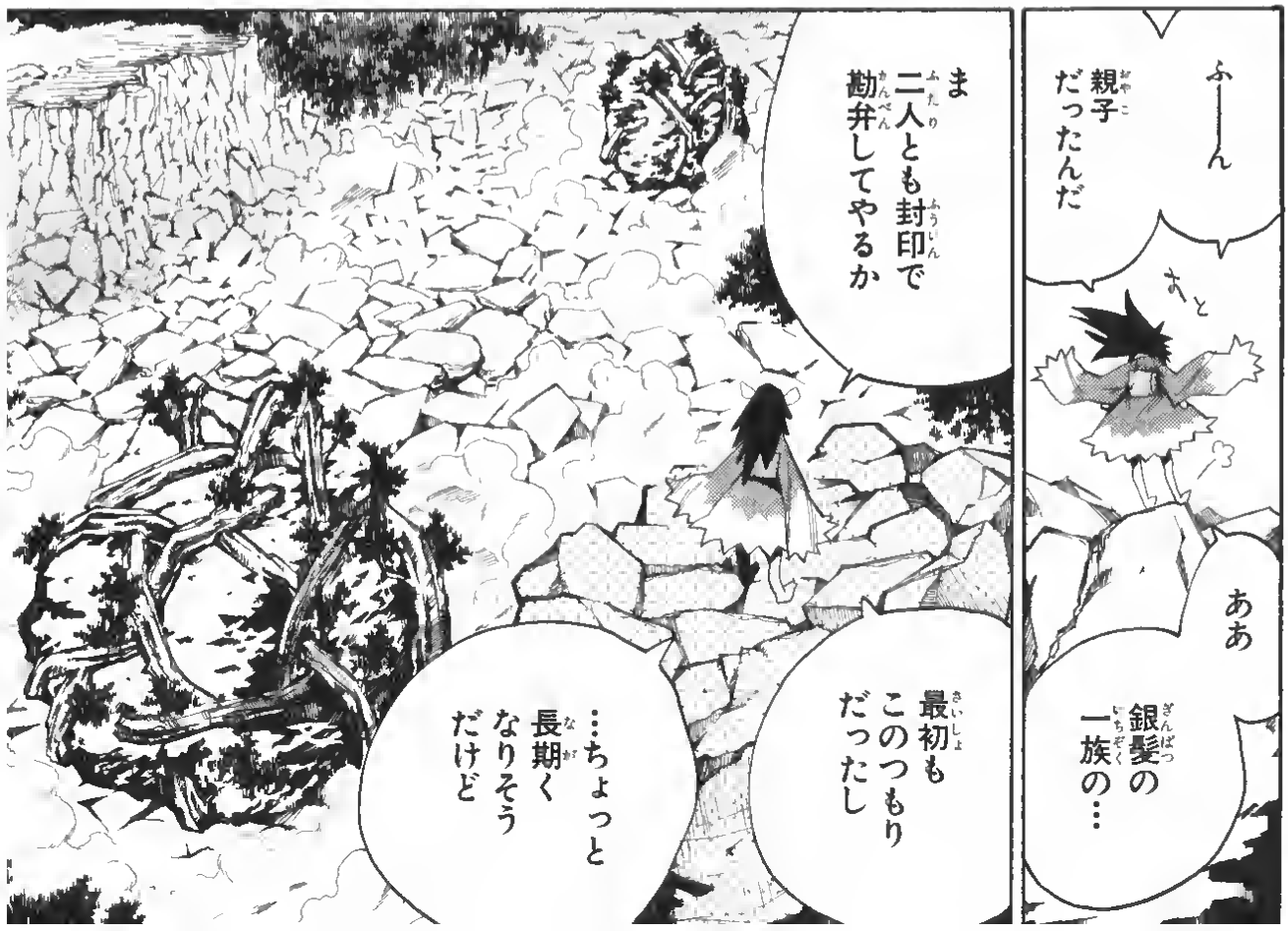
気に入った

優しく
抱いて
あげる

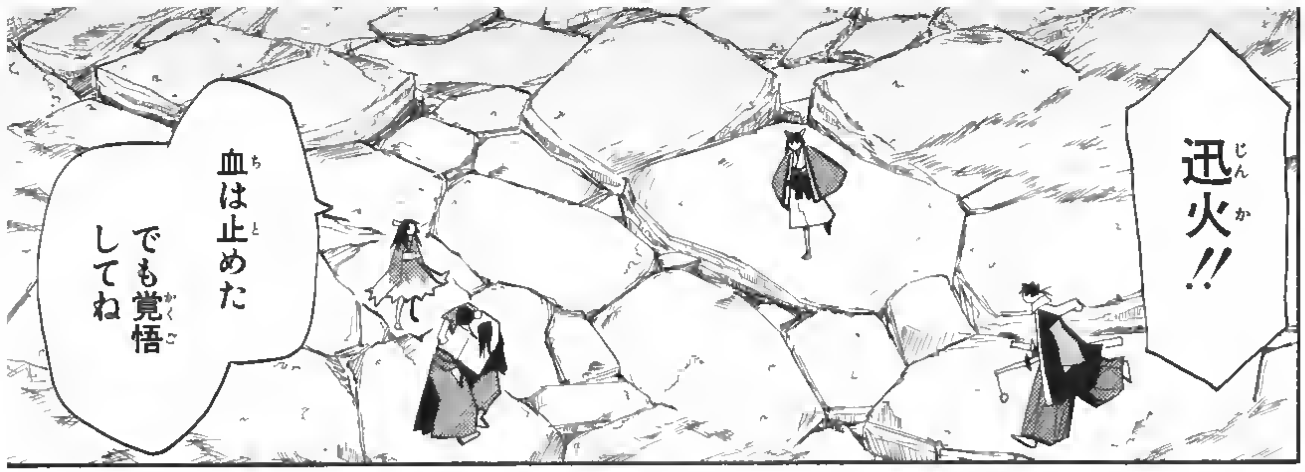
うおおおお!!
ちょっと星底の
炎海まで行こうか
おおお!!
いつの間に
あいつ!?
やるな!!
おおっ!?

ほっ!!
ギュ
ギュ
ギュ
ブチッ
ギュ
ギュギュ
ギュ
父上(ちちうえ)——ッ!!

え!?
父!?


ふ――ん
親子だったんだ
あと
ああ
銀髪の一族の…
最初もこのつもりだったし
ま二人とも封印で勘弁してやるか
…ちょっと長期くなりそうだけど

いきなり出て来て龍と弟子を封印とは…
なんという…
……
!!
迅火!!
迅火様!!
ああ…すごい血が…
どっ
ざらっ
すたっ
やれやれ
しょうがないね
ぎゃ
ほい
ずご
あ
あ
あ
パチン
うっ!!


迅火!!
血は止めた
でも覚悟してね

さっきも言ったけど
神の利用料は高価いから
ペロ

おれの策は全て見通した上で乗ってきたのか…？
……何を要求する気だ？

そうだねー
たまちゃんか迅火くんの
ボコ
ボコ
ボコ

魂をもらう
踊り喰いで

ヌシ様…!?
なっ
おい…!
真介くんは
いいよ
あんまり
おいしくなさ
そうだし
マジで
喰うのかよ…
さ 行きな
支払いは
旅が終わる
まで待って
あげるから
りんずも泰山
見つけたらちゃんと
報らせるんだよ
あのー
かわりましょうか
いや
いい

第27回　断怪衆最強の男

神雲と千夜が…!?
確かか野禅
ああ
山ガラスどもの追撃から逃れた我が式が見届けてきた

神雲 千夜 両者とも山戸迅火一行に味方した山の神に
封印された

で 迅火達は？

迅火が神雲との戦闘で負傷 片腕を失ったが

こちらへ向かっている

負傷だと？

だが山の神の手ほどきにより霊力は格段に上がっている

戦闘力が落ちているとは思えんぞ

ん そうか

神雲の拳をくぐり抜け
一回り強くなった
あやつの拳
楽しみだ

野禅!!
迅火討伐の任を
今一度わしに…
ああ
だが刺客派遣は
もうやめだ

どうせ ここに来る
奴はここで殺す
待っていろ
道錬

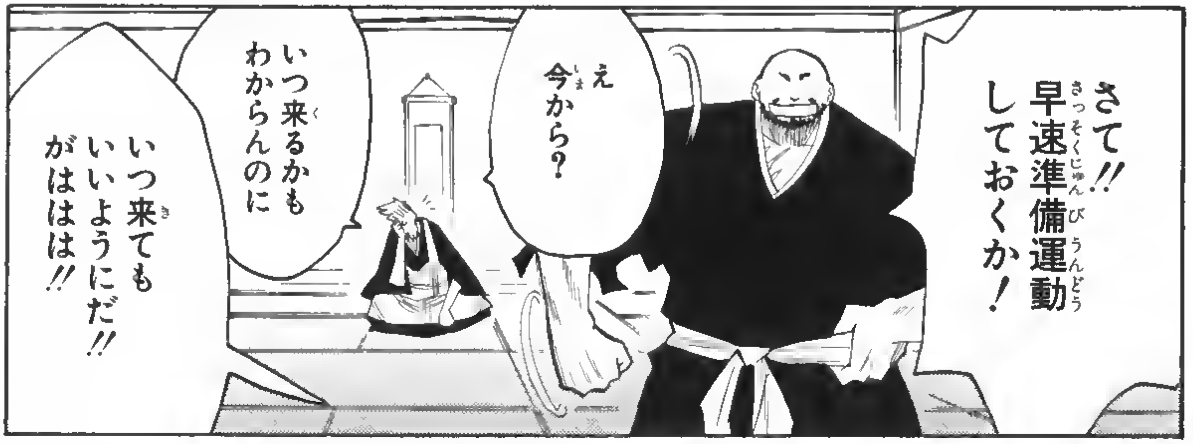
あい
わかった

さて
神雲と
千夜を
どうするか
だが…

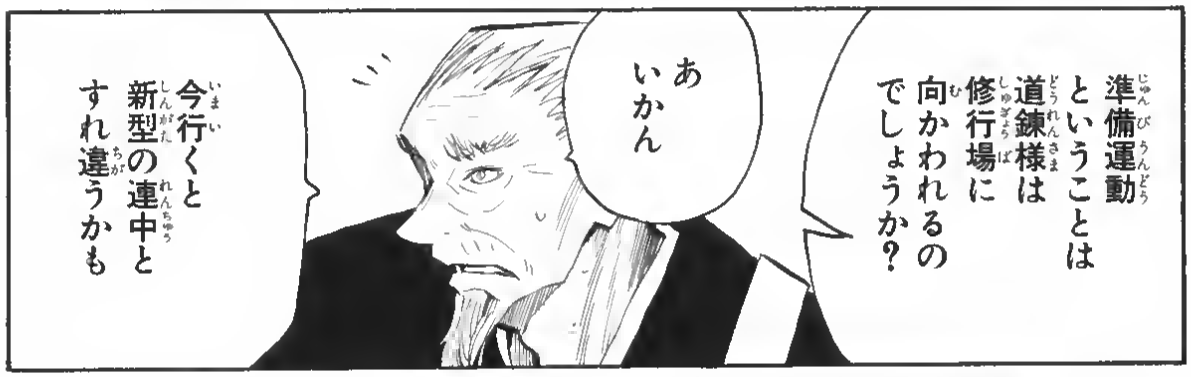
封印ということは
神に殺意なし
ということだろう
いずれ
戻るのでは？
いいぼぼ
だがあまり
長く仕事を
休まれるのもな

後進を育てる
良い機会では
ないか
がはは
一部の突出した戦力に
頼りきりの組織では
この先持たぬぞ
…確かに…
まぁ…

そろそろ
新型の
実戦配備
とするか…


さて!!
早速準備運動
しておくか！
え
今から？
いつ来るか
わからんのに
いつ来ても
いいようにだ!!
がはは!!

ぴ～…
くすくす…
相変わらず
血気盛んなお方で…
全く
暑苦しくて
かなわん


準備運動
ということは
道錬様は
修行場に
向かわれるの
でしょうか？
あ
いかん
今行くと
新型の連中と
すれ違うかも

何か問題でも
おありですか？
ごろり
新型の連中も
血気盛んな
若者どもだ
四獣将に
不満を持っとる
…道錬とモメんと
いいが
全くおかしな
部隊名を勝手に
名乗りおって
えーと
なんと
いったかな…

我ら
開天の十聖!!
九極秘
八極秘
七極秘
六極秘
五極秘
四極秘
三極秘
二極秘
十極秘
極秘

ん…?
……

我々は新型の霊力改造人間であります
旧型の道錬殿に物申す!
一極秘

旧型
極秘って書いてあるけどいいのかおまえら

単独行動が過ぎる
四獣将の存在は
断怪衆に害悪!!

下の者に示しが
つきませぬ

統率と連携を
以って組織!!

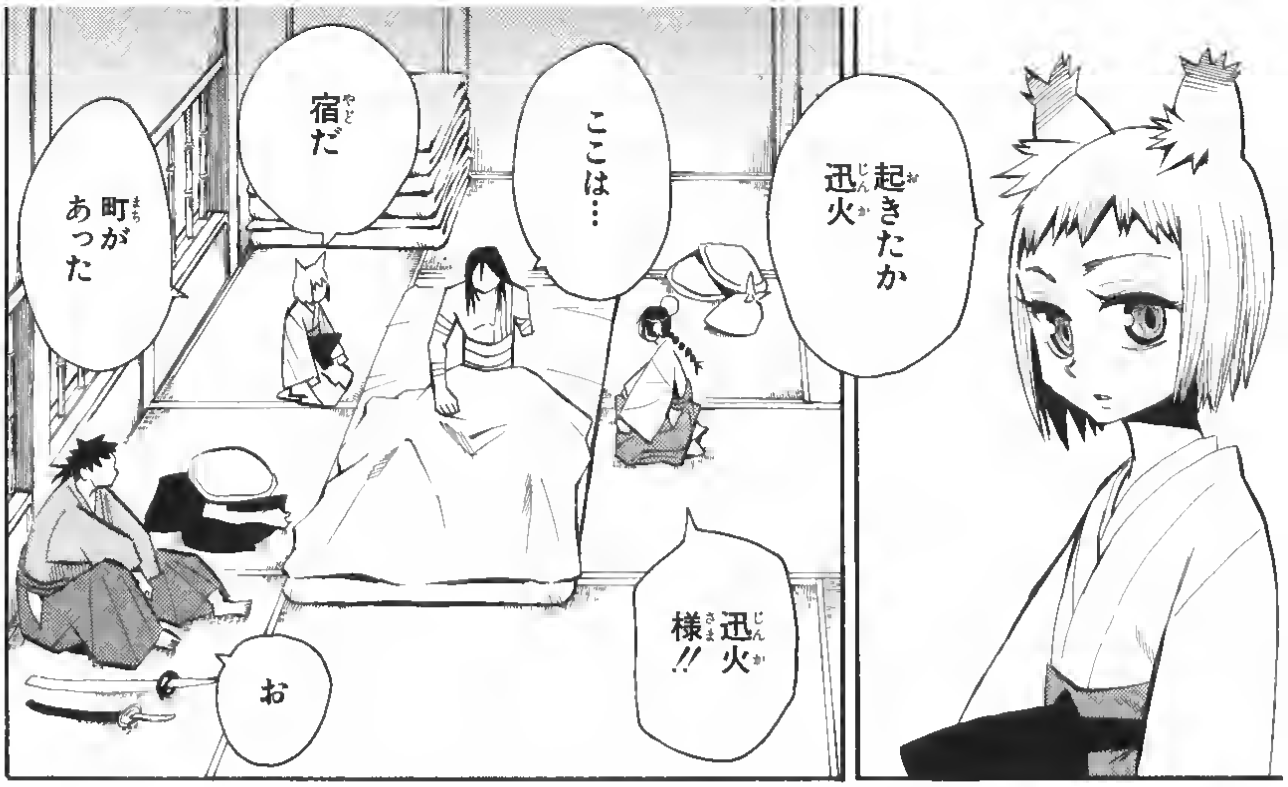
面倒な連中だな
最初から不満ある旨拳で話し合おうと言え
噴ン

そうですね
力でご説明しましょう

!?

なんと…！
呪具霊具と
闇の融合だと!?

お覚悟!!
!!


起きたか迅火
ここは…
宿だ
町があった
迅火様!!
お

迅火腕どうだ
痛むか
痛むわけありません
ヌシ様の治療ですから
…うで…？
……

……ああ…そうだった
龍との戦いで……

!?
迅火…
すまぬ
おれは…
じっ
迅火!?
なにを
ふ
はは
え
おい
はは
は

さすが姉上!!
狙い通り龍の男を排除できた
ばん
ばん
アレを相手にして腕一本で済むなんて!!
奇跡ですよ奇跡!!
ははは

片腕無くしてよく笑えるな
剣士だったら死んだも同然だっつーのに

…腕一本では……
魂をいただく

腕など問題ではありません

私は今こうして笑えている

あ
居たん
ですか
り…
なんだっけ
いいか
私には笑顔
向けてくださら
ないんですね
でも蔑んだ
お顔も
ステキ!!
…おれや
たまは
笑えねぇよ
また仲間が
傷ついたん
だからな
特にたまは
自分のせい
だと思って…

なかま

……

ありがとう
真介

大丈夫だ

迅火が
笑ってくれる
なら

おれも
笑える

だから
お前も笑え
真介

仲間
だろう
？

…すまねえ

すまねえ
迅火 たま

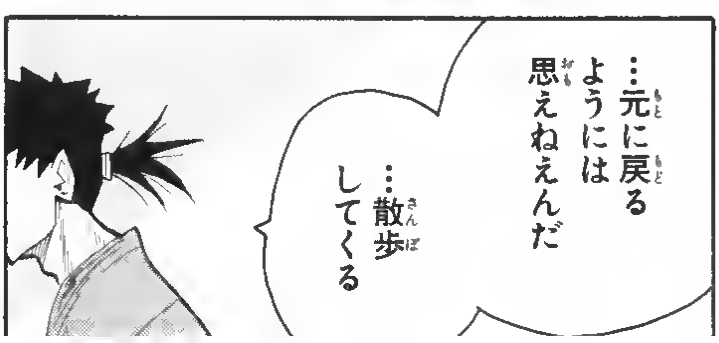
真介
さま

おれは
笑えねえ…!!

おれが弱っちい
間抜けのせいで
死んだあいつは
…もう笑っちゃ
くれねえんだ
待て
真介

お前のせい
ではない
それに灼は岩に
変化しただけだ
いつかは元に…

戻るかどうか
わかんねえって
言ってたろ
岩の里の長老も
わかんねえんだよ
おれには
…岩になるって
どんなことなのか


…元に戻る
ようには
思えねえんだ
…散歩
してくる

きっと
戻る

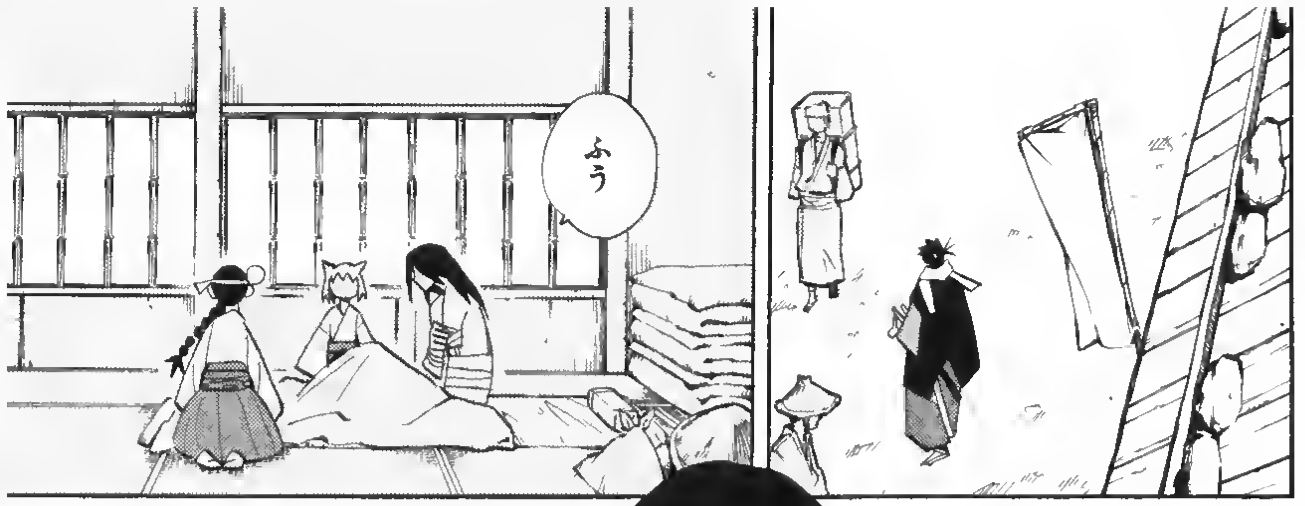
何を
根拠に

少なくとも
おれ達がそう
思ってなければ
いかん気が
する

…かもな

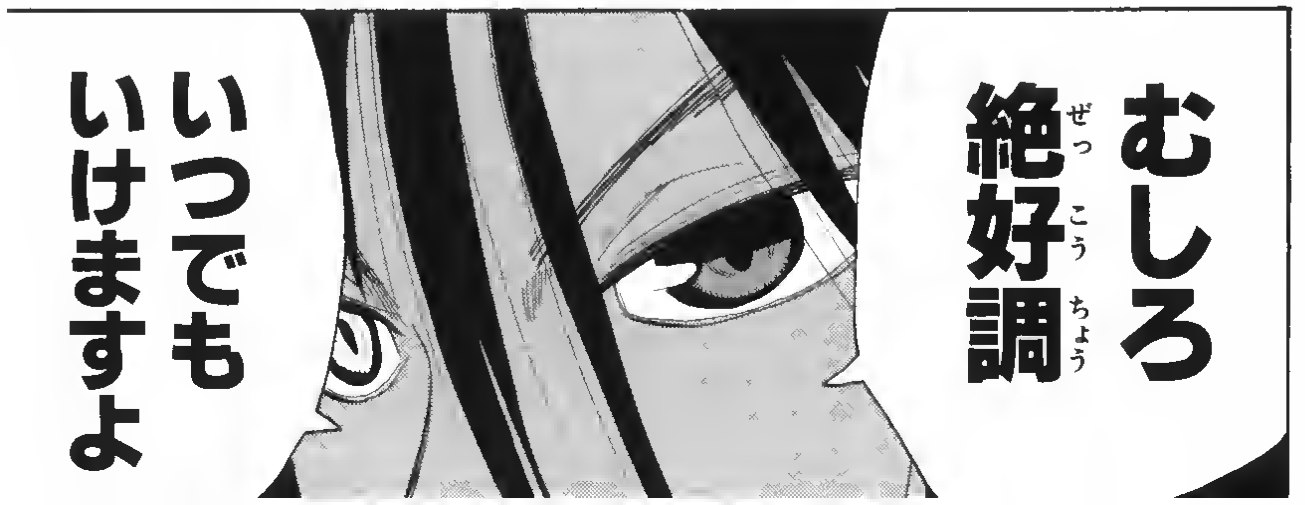
あ
散歩なら
団子買って
きてください
みんなで
食べましょう

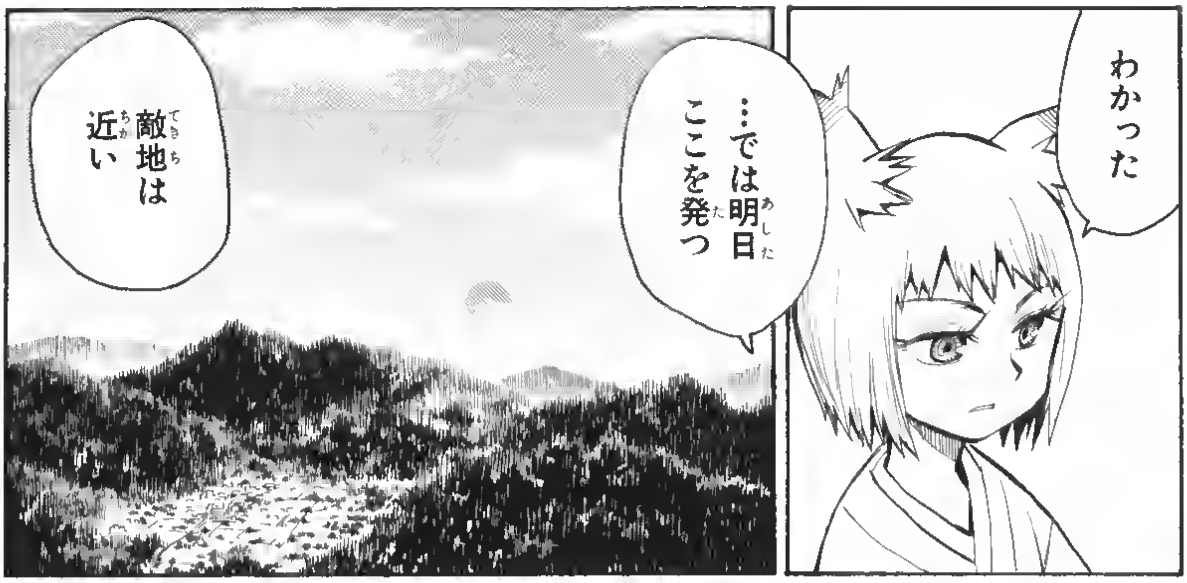
…しょうが
ねぇな

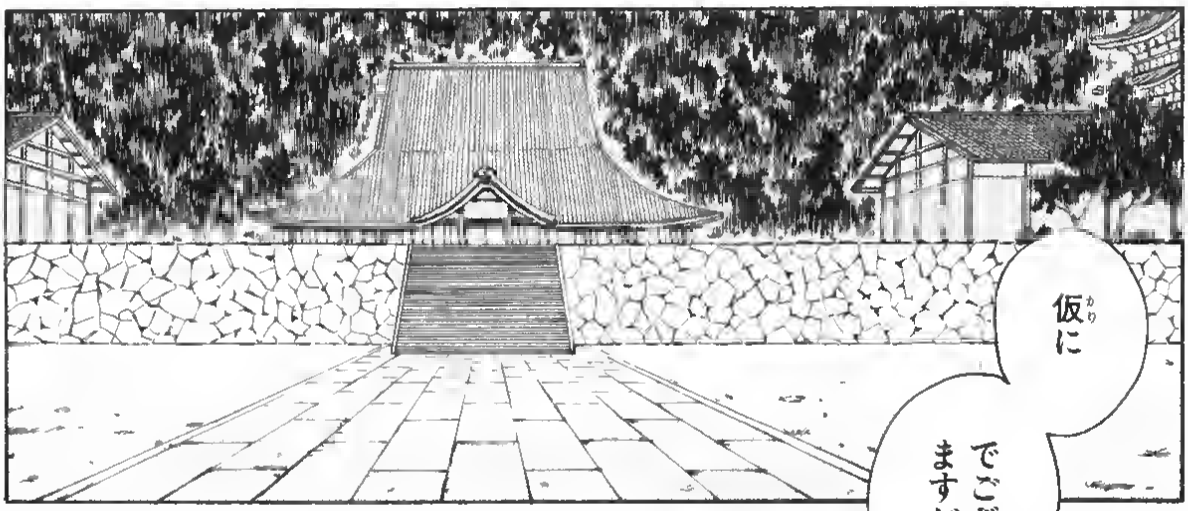

ふう

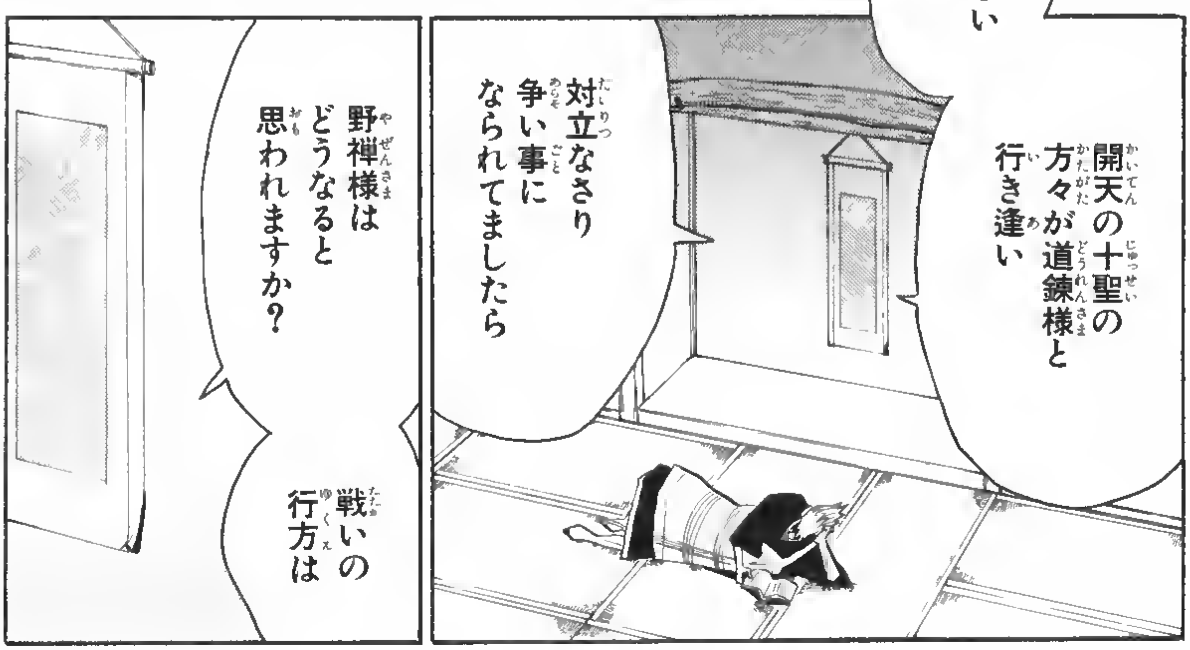
姉上
不思議なことに
腕一本欠損している
にもかかわらず
霊気は乱れてません
痛みも
ないし
私はどうやら
本当に大丈夫
のようです
だから気に
なさらないで
ください

……
今ならもっと
行けそうです
より
高みに
霊力が覚醒する
瞬間の感触が
まだ残っている


むしろ
絶好調
いつでも
いけますよ


わかった
…では明日ここを発つ
敵地は近い


仮にでございますが


開天の十聖の方々が道錬様と行き逢い
対立なさり争い事になられてましたら
野禅様はどうなると思われますか？
戦いの行方は

どちらが勝つかは決まりきっとる
十聖どもは新型だぞ？
まったく困ったことになる
今頃道錬の奴は

おれのせっかくの新作(しんさく)を
ポッキポキに
殴(なぐ)り壊(こわ)しちゃってる
だろうよ
はー

あら 野禅様の
お作品は新作より
旧作の方が
出来良いと？

中身の
問題だ

昨日今日
霊力改造人間に
なった慢心の塊など
道錬の敵ではない

ばさ

道錬は霊力の
大きさに一度たり
とも溺れたこと
などない
武の求道者だ

ふん

霊力こそ
神雲が
筆頭だが

武芸に
おいては

野禅め

もう少し
頑丈なものを
作らんか

道錬が
断怪衆最強だ

で？
お前らは
やらんのか

そりや
ご勘弁

彼ら若い8人と
違い我らは
身の程を
知ってますゆえ

謙遜だな
印河
央鳳

お前ら古株の
兵法ならば
おれを倒せる
かもしれんぞ？

味方の戦力
捨てる兵法なんざ
聞いたこと
ありませんよ

派閥や権力争い
など断怪衆の
本分では
ありませぬ

新型どもには
古株が二人程居るから
全滅まではなかろうが

つまらん
ことだな

派閥だの
権力だの

では
何が
お好き
で？

おれが興味
あるのは
お前だけだよ

出て
おいで

くずのは

お若いことで
くすくす
ドロロロロロ
この色坊主
ふん
お前
山戸迅火の
同行者たま
の母だといったが
そろそろ父が
誰か教えて
くれんか

いけない人
女の過去まで研究なさるおつもり？
妬ける
ふふふ
じゃ

たまちゃんが私の下まで来れたら
教えてさしあげますわ

翌日
…きっといい女になってるわ

はいお待たせしました
ん

きゃー迅火様!!
ヌシ様に頂いたお召し物がよくお似合いですぅ

迅火
よいか

行くぞ！
来い!!

第28回 断怪衆総本山正面

できるんですか
魂寄せ

できます
よー

…にわかには
信じがたい…

…おねえ
さま？

だから魂寄せ
ってなんだよ

呼んだら
来るです

…もう少し
長い文で

……

おねえ
さま…

遠くに離れた
人や闇を術者の
目の前に瞬時に
呼び寄せる霊術
です

海
A
B
パッ
ドロン
海

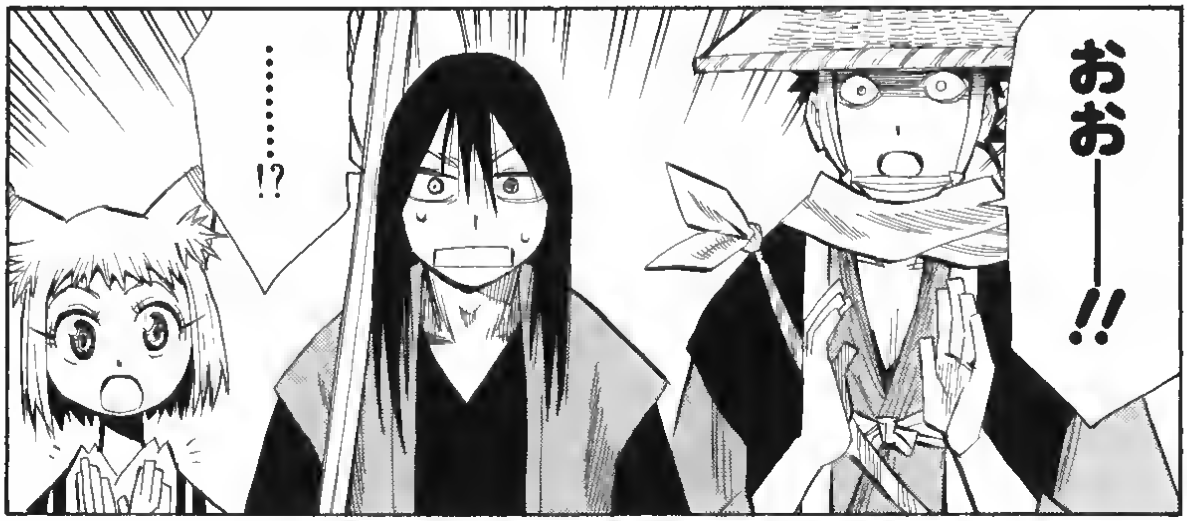
そりゃすげえや
船も馬も
要らねえな

習得の難しさ
に比べれば
船 馬の方が
よっぽど楽です

おねえさま

じゃーちょっと
試しにやって
みましょうか

はいっ!!
何もない所からカラスのコジローが!!
呼ばれて飛び出てジャジャジャジャ…カァー!!


おお——!!
……!?

第28回　断怪衆総本山正面

まさか
本当とは…

ちょーん
ね？

あれは山の神の
支配領域内だったし
魂寄せっていうのは
長距離空間転移
で……
とにかく
難しいん
ですよ

まあでも
山の神さんだって
いきなり出たり
消えたりしてた
じゃねぇか
そんなたいしたことか

ちっ

りんずは
赤ん坊の時から
魂寄せだけ
練習する教育を
ヌシ様から受けて
きたんだ
りんずにはフツーの
術なのさ
あの 私もしかして
すごい!? 迅火様
私すごい
ですか？

この符に名を書けばいいんだな
ふーん
そうですお姉様

はっまたお姉様って言った
スネてないでお前も書けよ
お前にできない術をりんずが使えるからって
書きますよスネてないし

おれも一枚
ところでこれ字書けない奴はどうしてんだ
おれは書けるぜ
大丈夫ですよー

自分を示していると思って印をつければいいので
偽名でもぐるぐる丸でも三角でも拇印でもなんでも
こんなの書いてるのもいます

…おれは真介でもいいか

兵頭真介
やまと
迅火

はい完了です!!
どーもー

これでいざという時緊急回避ができるかもしれん
頼むぞりんず
はいお姉様!!任せて!!
あー…うむ

ところできっき道ですれ違った闇と契約して
頼むぜって言われてたけど
何だ

あー断怪衆へ殴り込む時魂寄せしてくれって
断怪衆がうっとおしいから加勢したいって闇多いですよ

ならん
これは私怨による戦ではない

義による世直しだ!!

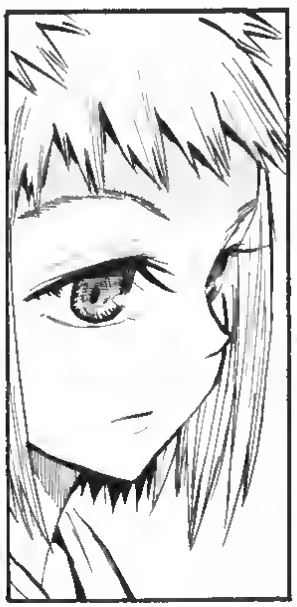
世直し…
そういえば
迅火様達は
何故断怪衆
と戦ってる
んですか
人や闇を
いたずらに弄ぶ
非道の研究を
している者が
断怪衆に居る
そやつを成敗しに
行くだけのこと
えーと…
なぜそれを
お姉様達が
やる必要が？
龍に追われる程
揉めてまで…
人が好き
だからだ
闇が好き
だからです

龍との戦いでは
山の神を巻き込むしか
我らの助かる道は
なかったが
そうでない場合は
極力闇と人を
争わせることは
避けたい
ゆえに魂寄せは
身を守るため
以外にはなるべく
控えてくれ
神の使いに
指図も
なんだが

好きってことは
いいことです!!
わっかりました
お姉様!!

ふえ?
…悪いが
おれは
私怨だ
憎い奴が
居る

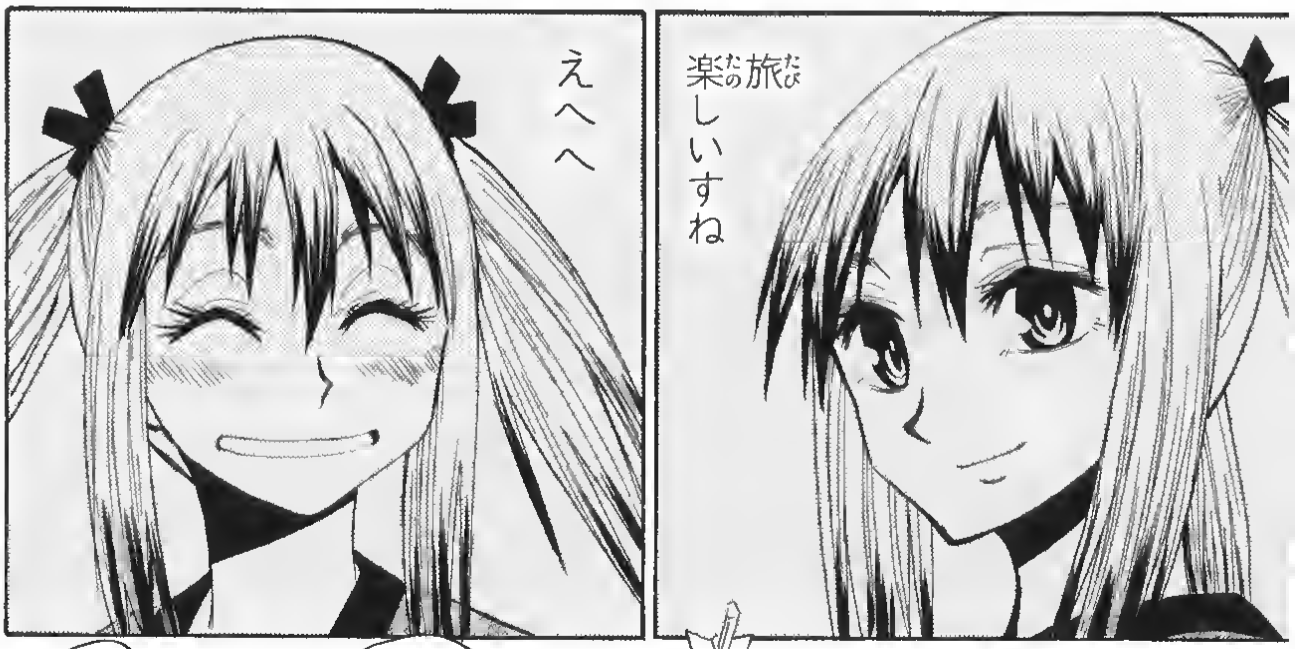
よくわからない
けど大変
なんだね
…まあな
カラスに言われ
たくねえが

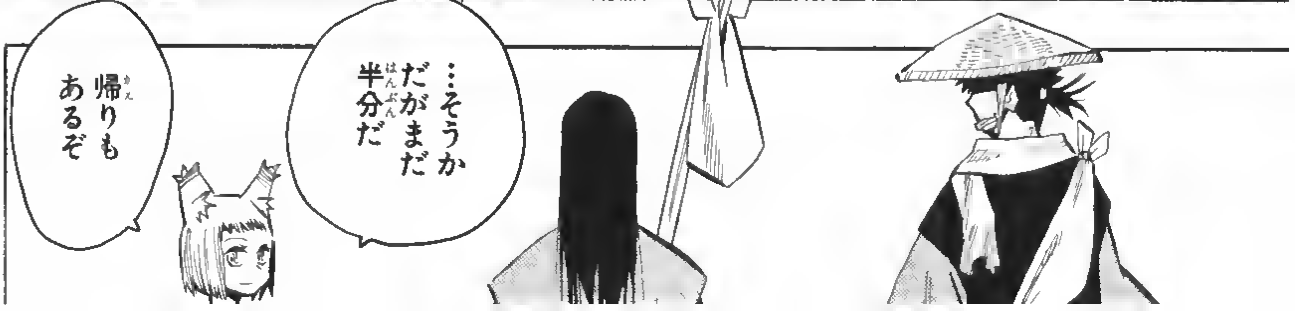


あそこだ
断怪衆総本山

……旅が終わる…
ぼえ
……
……

私 山から出たことないから色々見られて良かったです
や――山の外って人いっぱい居るんですねえ！
私には短い旅だったけど楽しかったです!!


楽しい旅ですね
えへへ


…そうかだがまだ半分だ
帰りもあるぞ

はい お姉様!
…さっきから おねーさまって何
行くぞ
ジャリ
…また正面から 行くのか?
当然だ
ここから先は 今までの防衛戦 ではない
世直しだ
我が眼が やましき者の 眼を射抜く
ゆえに
正面から 見据える

迅火
はい
またか
？

私の目的は
むしろ
野禅の研究資料
の入手ですが
それで私が姉上
と同じ闇になる
ことができたら
義姉弟から
夫婦になる
というのは
どうでしょう
何を
言っとる
大体それで
野禅と同じ
非道の過程
を踏む術を
作ろうものなら
おれがお前を
成敗するぞ

では
非道で
なければ
アリという
ことで
夫婦の件

迅火くんが
たまちゃんの
魂を

…色々と
難しい
かもな

…まあ

でもそれも
悪くない
かもしれん

お待たせ

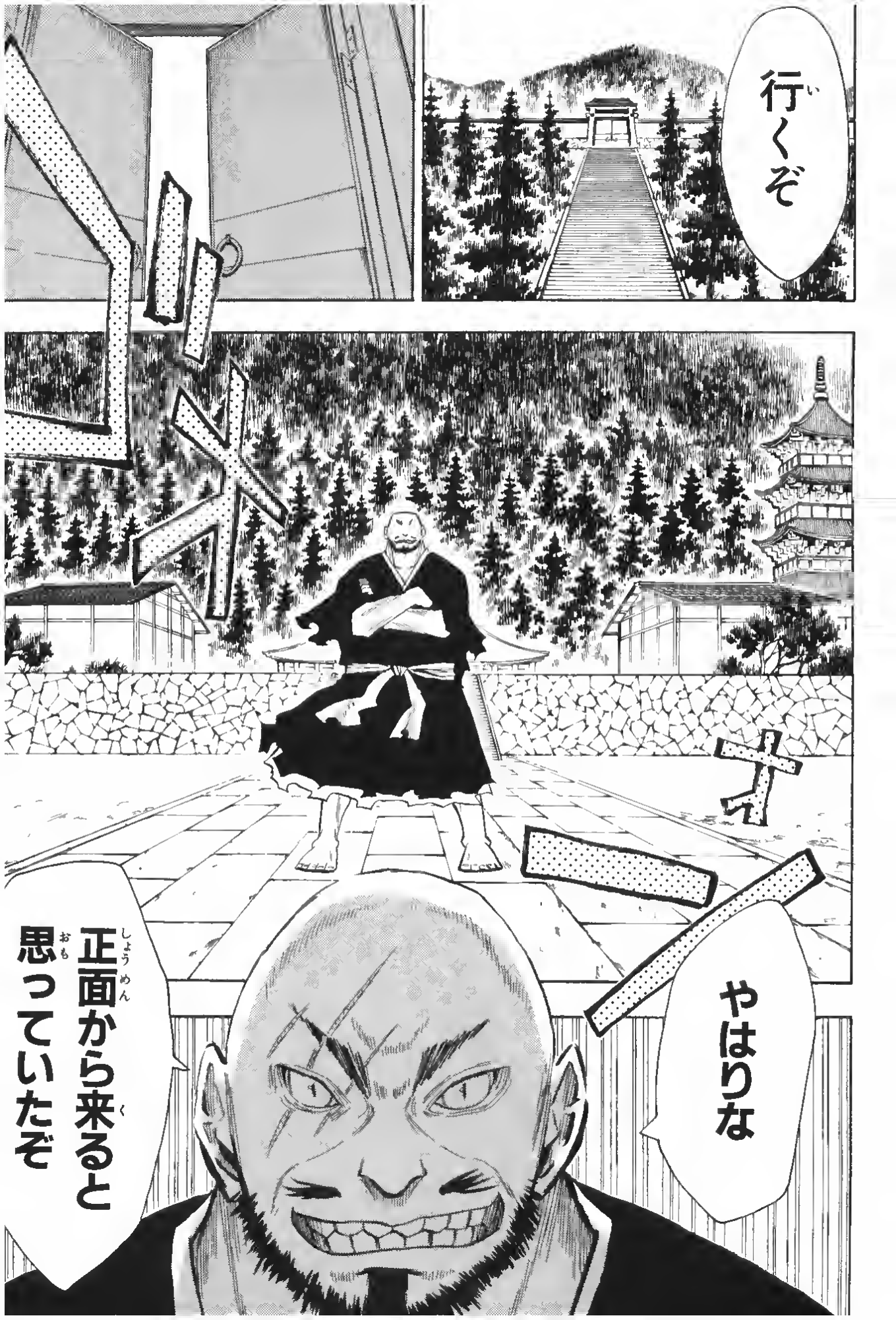
お
変身完了
か

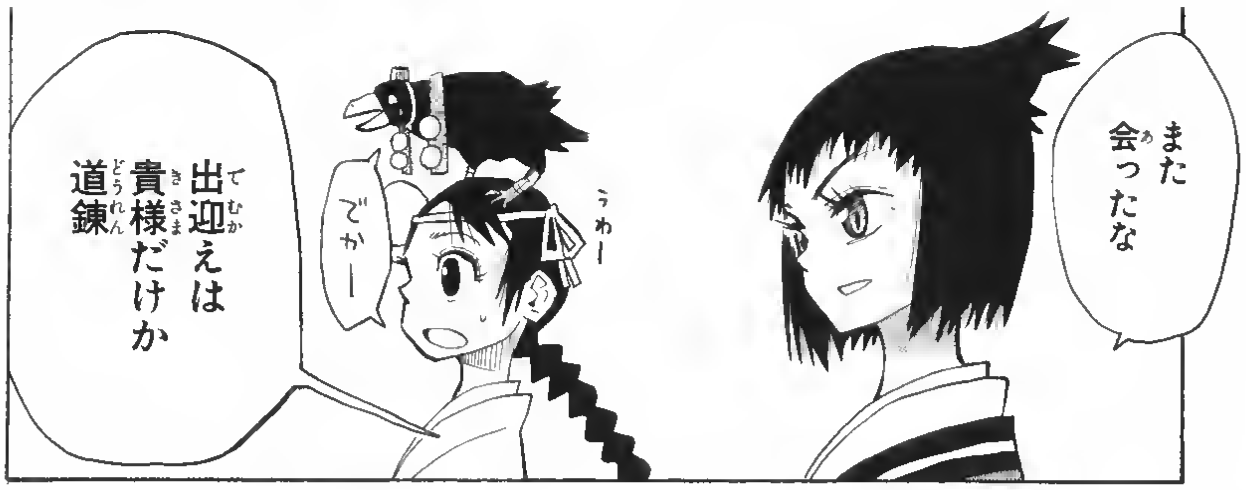
では張り切って
行きましょう

ああ
今度は
おれも
乗り込むぜ

私も
泰山様を
目で確認
しなきゃ
いけないので

おれも
会わねば
ならぬ者
が居る


行くぞ
やはりな
正面から来ると思っていたぞ


また
会ったな
うわー
でかー
出迎えは
貴様だけか
道錬

他の連中は
お前らが裏から来ると
思って別の場所を
固めておる

水入らずだ

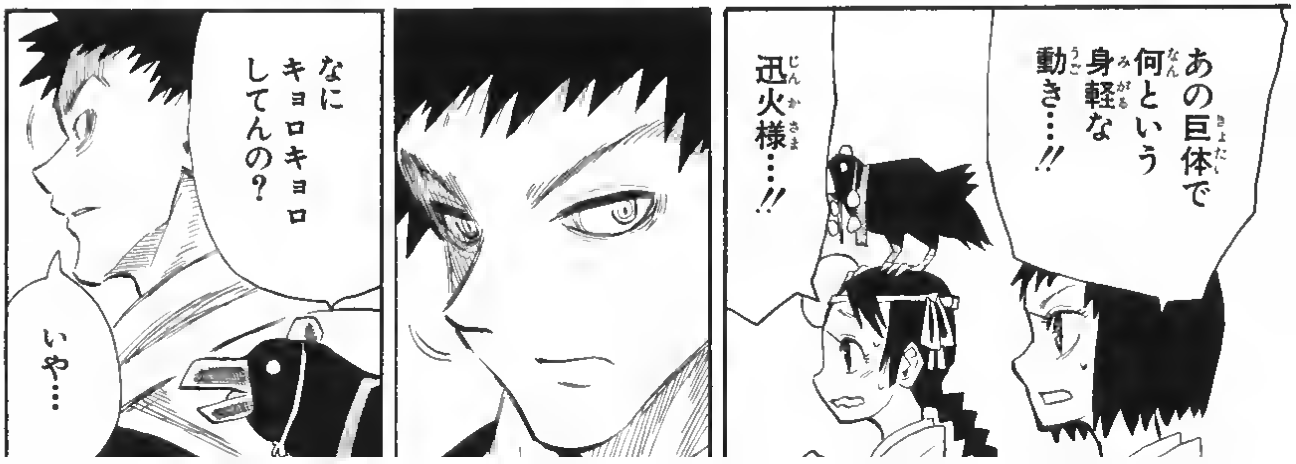
楽しもうぞ

では
まずは
一戦目
景気付けに

ぬおお

かわされた!?
今日は本気だ

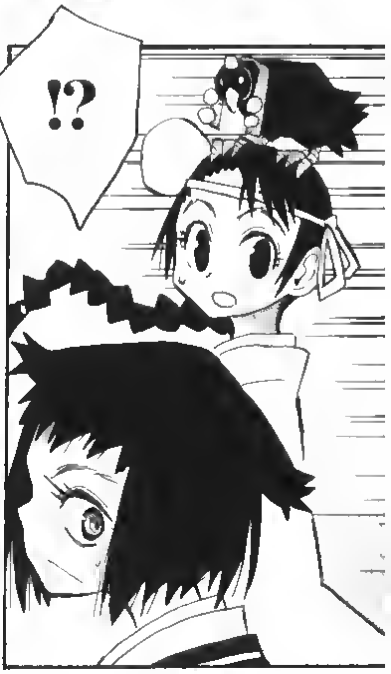
くっ
神雲と闘う時のため練っていた西洋拳術撲神の歩法
捨風を試させてもらう!!


あの巨体で何という身軽な動き…!!
迅火様…!!
なにキョロキョロしてんの?
いや…

樹翁鞭(じゅおうべん)!!
ふんッ
……
チャ
迅(じん)っ…

読みが当たったと思ったのに…
式神か

なんだ
ケハハ!!

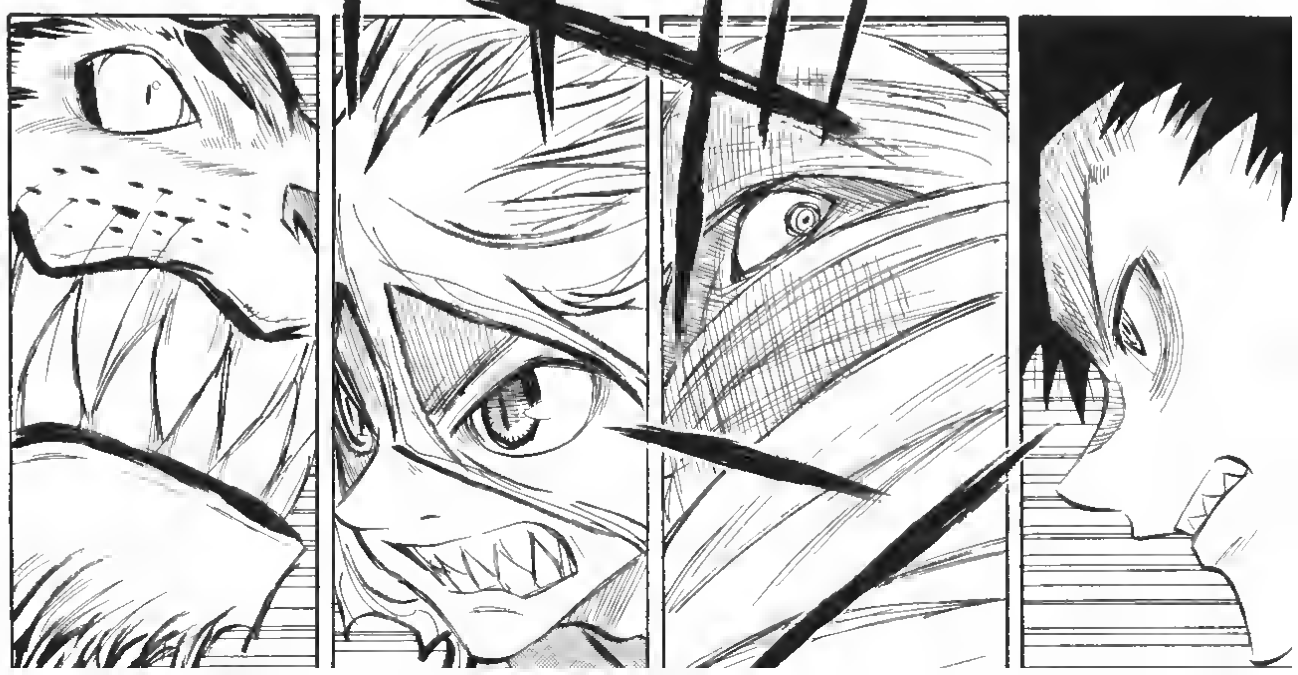

!?

今のは軽い
あいさつだぜ
!!
ついて来い
竹吉
てめーの墓まで
連れてってやる
ああ
そりゃあ
楽しみだぜ
バリー
え 行くん
ですか
こういうのって
普通
ワナなんじゃ
うるせえ
真介
危なくなったら
大声で「魂寄せ」と
叫べ
おれが聞く
ことができたら
りんずに
頼むから
いいな?
…ああ
行って
くる

いいんですか
行かせて
…真介はこのために来た
はあああ
雷神箭!!

始まったか
今回のもてなしは
前回ほどぬるくは
ないぞ
黒月斎の弟子

今日はもう
来ないん
じゃ…
なんか
音した？
遠雷
か？



第29回 戒れの果て

!!
ふん
霊力の練り込みが遅い!!
ぐっ…!!
迅い…!!

第29回 成れの果て

あのー
ひょっとして
あの人
めちゃくちゃ
強いんじゃ…
山戸迅火くんと
道錬殿の闘い…
強い
だが迅火とて
死線をくぐり
抜けし猛者
どう思われ
ます？
山戸迅火の
霊力は道錬を
上回っている
……が
武芸者道錬に
ただ巨大なだけ
の火力は通じん
迅火が勝つ
道錬が勝つ

思えば

霊力改造人間
となったあの日
最初に
抱いた思いは

「このままでは
弱くなる」だった
練磨も天賦も
関係なく
闇の大きな霊力を
一夜にして手に入れて
しまった
この力は自分を
たやすく
傲慢と粗雑に
導くだろう

堕落の道から
逃れるために
必要なものは…
より強き者
そう
奴が居た
かつての
ケンカ仲間
しかし今や
ケタ違いの
霊力を誇る
圧倒的
武神
自分を
さらなる練磨に
駆り立ててくれる
目標
神雲
奴が居て
良かった

そして今！
その武神・神雲との死闘をくぐり抜け
自身より巨大な相手と闘い生き延びることができるということを証明し
自分より大きな霊力を持つて眼前に立ちはだかつてくれたこの

この若き武仙!!
ああ！
彼を見て思える

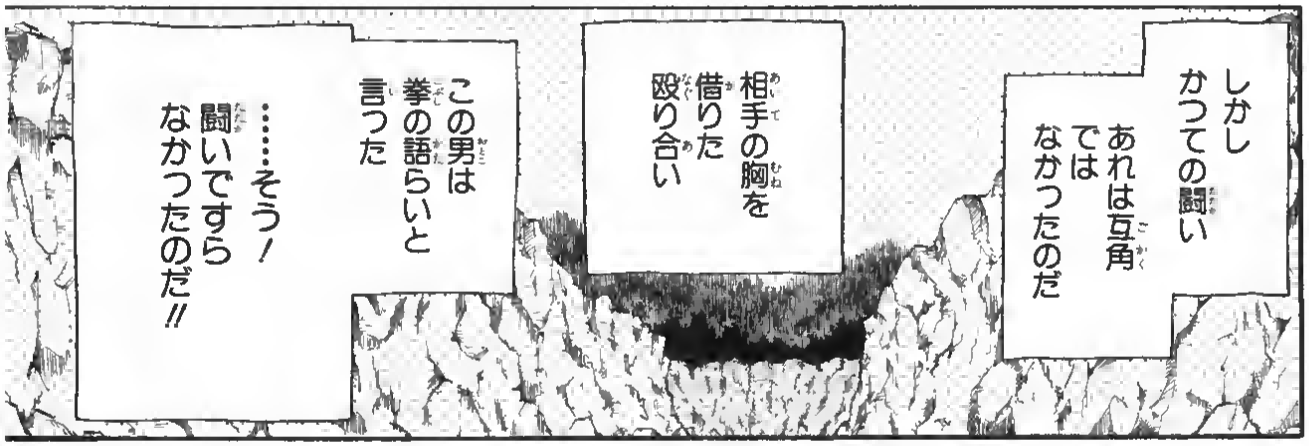
武の道に果てなく

業の高みに天蓋なし!!

まるでこの
若者の存在が!!
己の全てを
肯定してくれて
いるかのようだ!!

なんだ
これは……!!

一度は拳を
交わした相手
あれから
霊力の覚醒
を経て
今や自分の方が
はるか上を行って
いると思っていた


しかし
かつての闘い
あれは互角
ではなかったのだ
相手の胸を
借りた
殴り合い
この男は
拳の語らいと
言った
……そう!
闘いですら
なかったのだ!!

侮っていた
龍の男の脱落に
気が緩んでいた
この男も
また

はるか
格上(かくうえ)!!!

どうした
疲れたか？
まさか
格上を破るには…

奇跡の確信!!

この戦いで
更に覚醒してみせる!!

ヘイ
着いたぜ
!

ここが地獄だ
入る度胸があったら

ケハハ…
……ちっ
……おれは奥だ…
……

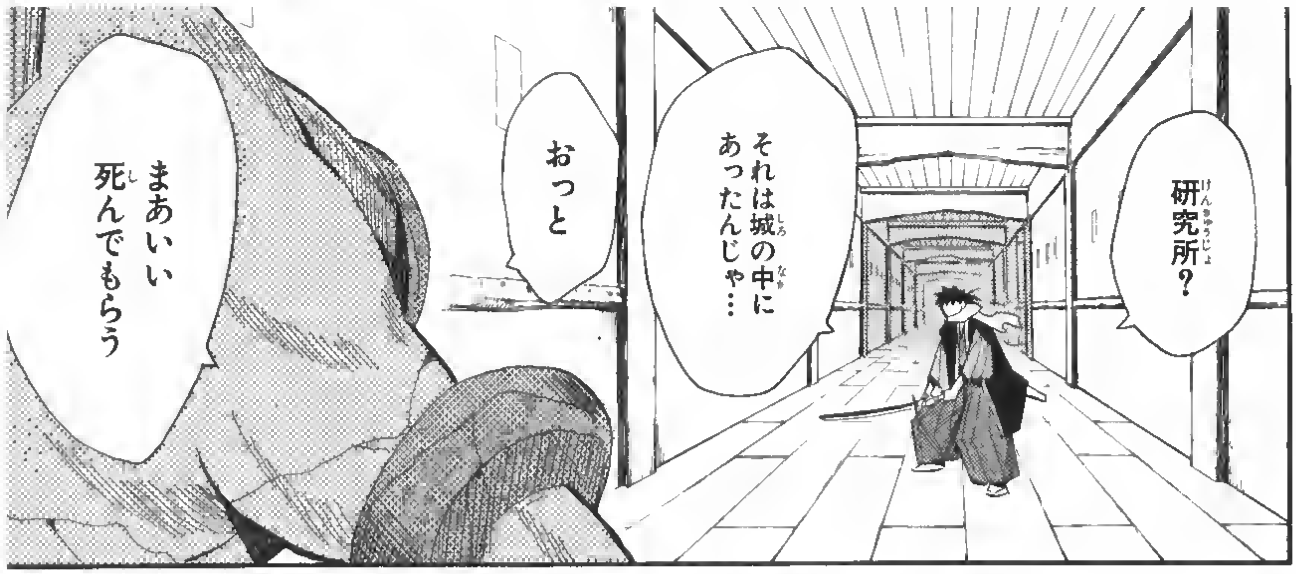
さっきから紙ばっか斬ってんじゃねえよ…

悪い悪い
すぐ血を吸わせてやるよ

!
なんだこりゃ…
迷路(めいろ)？
まさか袋男(バリー)が
一人(ひとり)で作(つく)ったんじゃ
ないだろうな

……
……はっ！
ギシ
……
ギシ
……
どっちから来たんだっけ…
……
まあいいか適当に進んでみ…
ううー
かわや…
！

侵ッ…
くっ…
ビリビリ
キサマ
山戸迅火の
一味の者だな
よくもこの
研究所の深部
にまで入って
これたな


研究所？
それは城の中にあったんじゃ…
おっと
まあいい
死んでもらう

手負いとはいえ
開天の十聖が一人
キサマのような雑魚に遅れは取らぬわ

こちとら袋男以外は眼中にねえ
てめーも雑魚だ
断怪坊主…!!
…なんだこいつ…!?
ほとんど霊力を感じない雑魚のハズが…

なんという
不吉な
眼……!!

断怪衆の僧兵として
多くの障怪と戦ってきたが
こんな眼を向けられた
のは初めてだ…

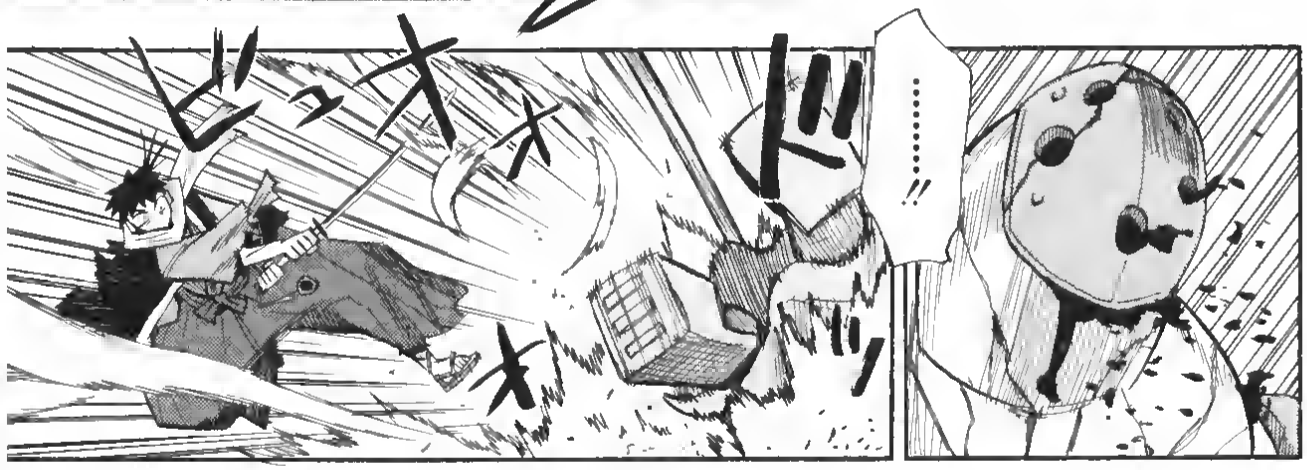
ましてそれが
人間の眼とは

こま切れに
してやる

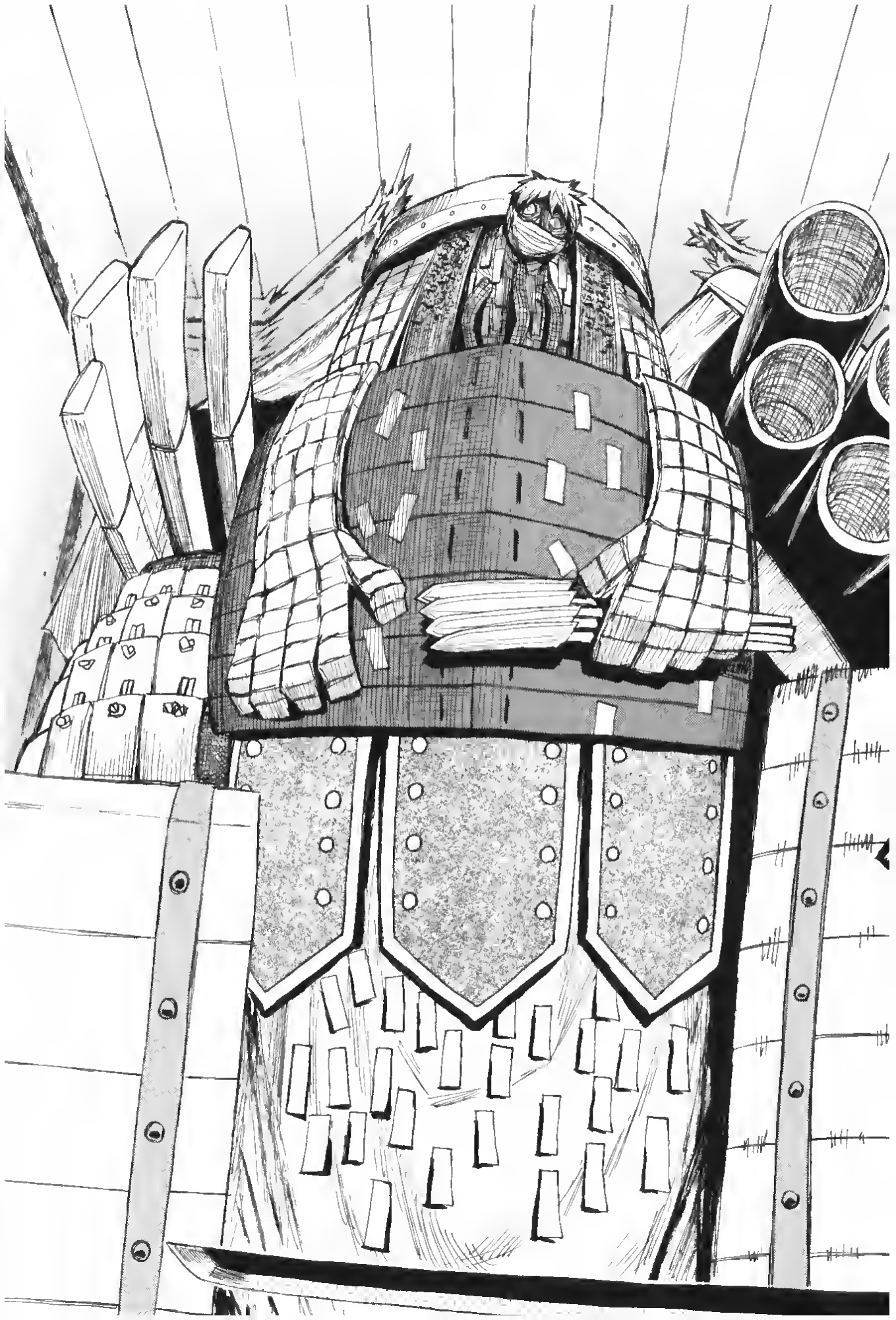
うっ…

うおおお!!

!?


……!!
ビュオオオ

腹から剣……!?
いや槍!?
背中に刺さって…
チッ
外れか
まあいい
ケハハ
!
シュン
袋男(バリー)!?
おう
遅いから
迎えに
来たぜ



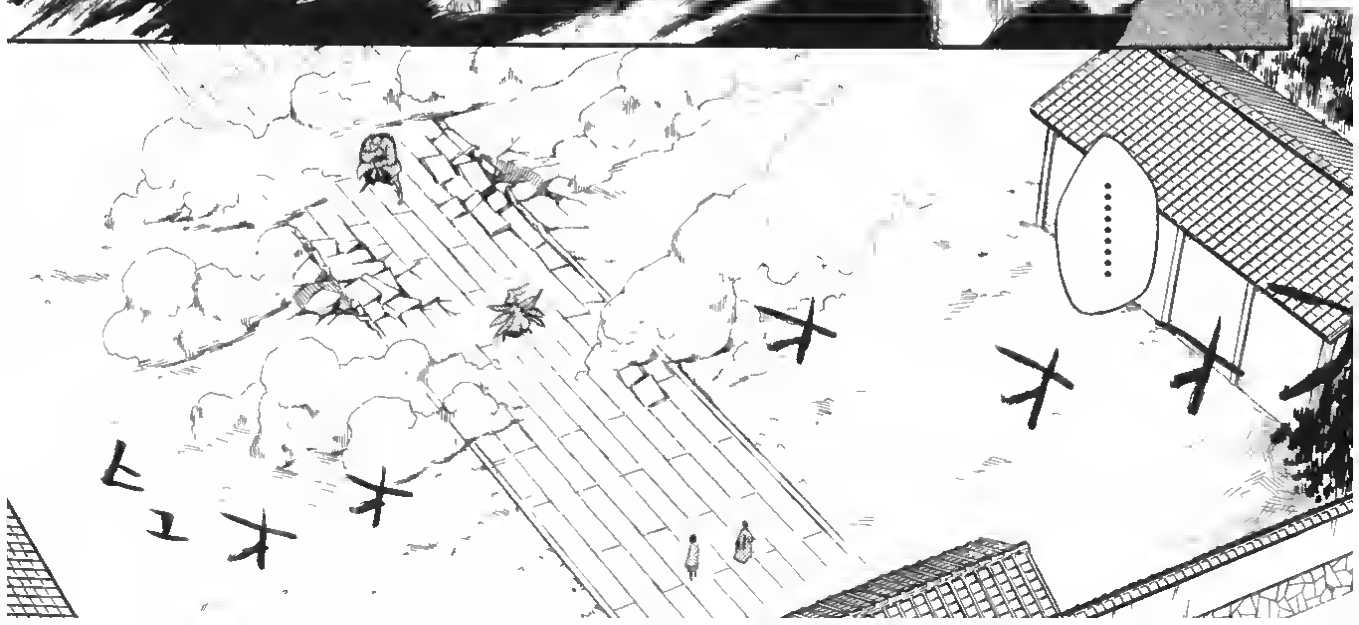
よおおぉお
見(み)ろよ!!
イカス
ボディだろぉ
竹吉(たけきち)イィ!!
ああ!!
なんつー
醜(みにく)い成(な)れの果(は)て
だ!!
よぉく似合(にあ)って
んぜ!
バリィィ!!
ケハハハハ!!
そう言(い)って
くれると
思(おも)ってたぜ
竹吉(たけきち)イィイ!!

ヤバッ
……
ぬッ
ニヤッ

……ほう
大した奴だな
笑うか
視える
霊気の渦
これが妖精眼の力!!
相手が意識している場所がわかる
来る!!

速い!!
だが二発目はかわせた!!
くく
右が当たらぬようになってきたな

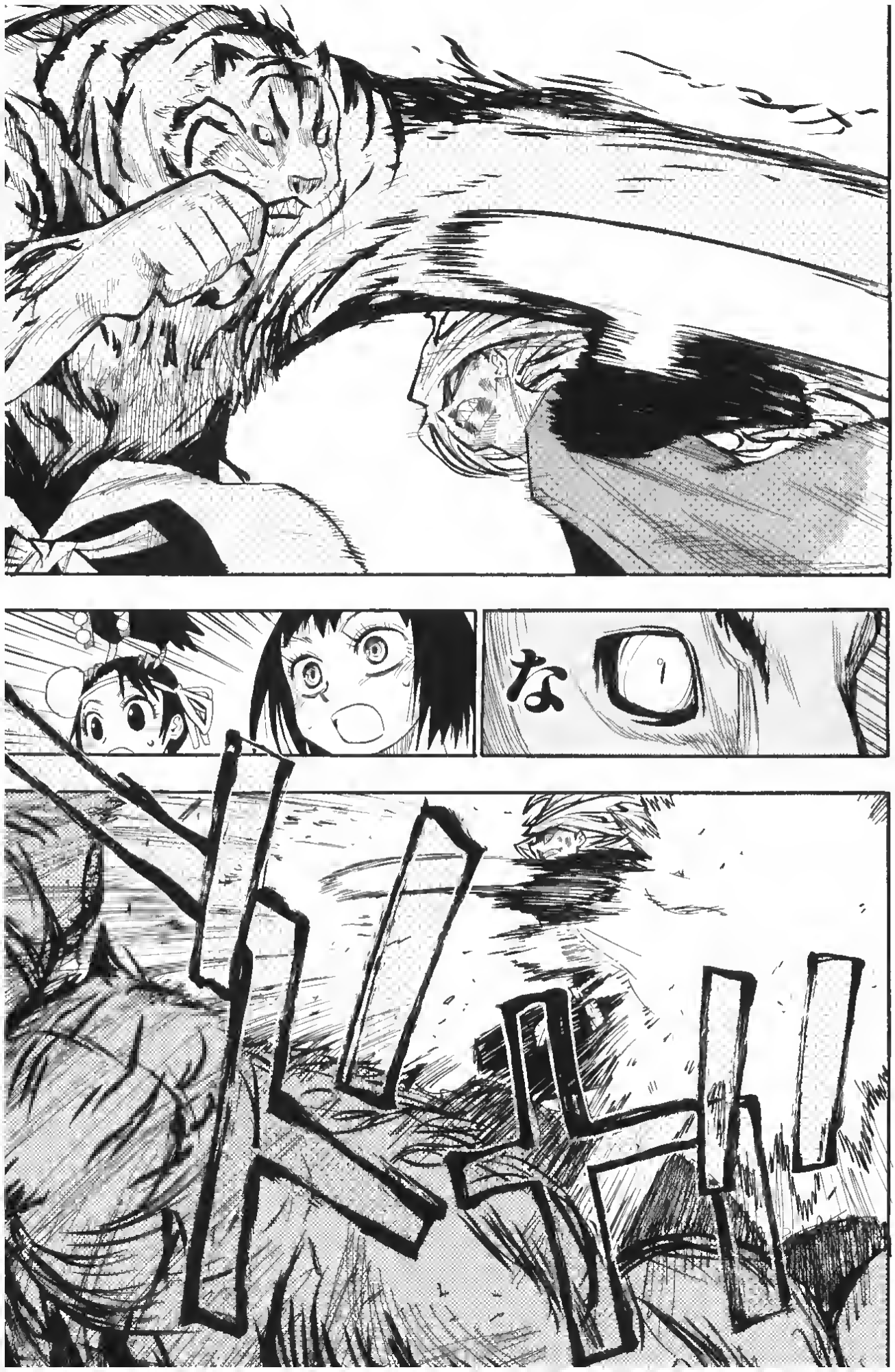
いずれは全てかわし全て当ててみせる!!
奇跡を導け我が妖精眼!!

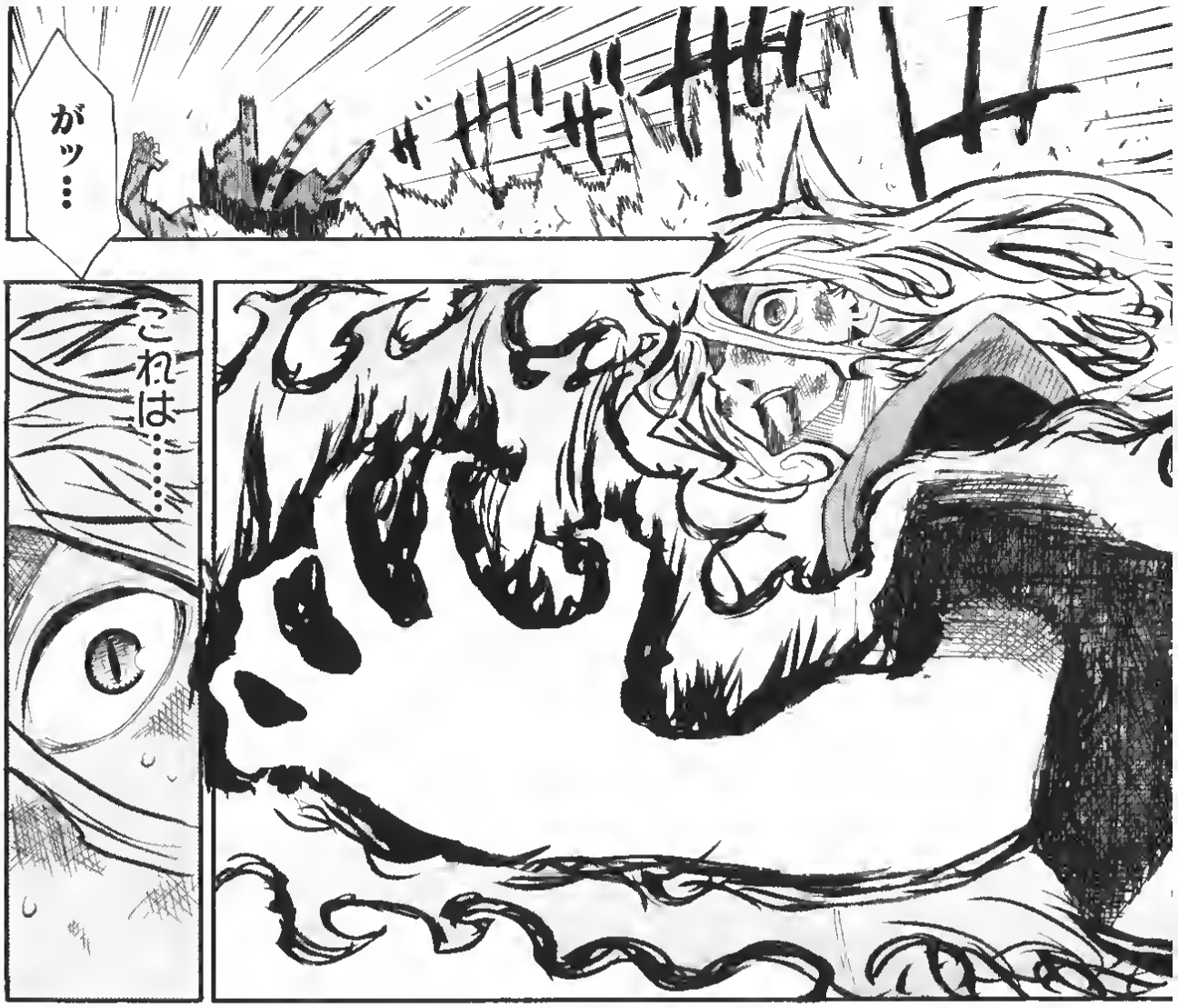

……

……？
どうした
何を止まって
……
……

なんだ？
なくなった
左腕から……

行くぞ!!
どこを
見ている!!


な


がッ…
これは……

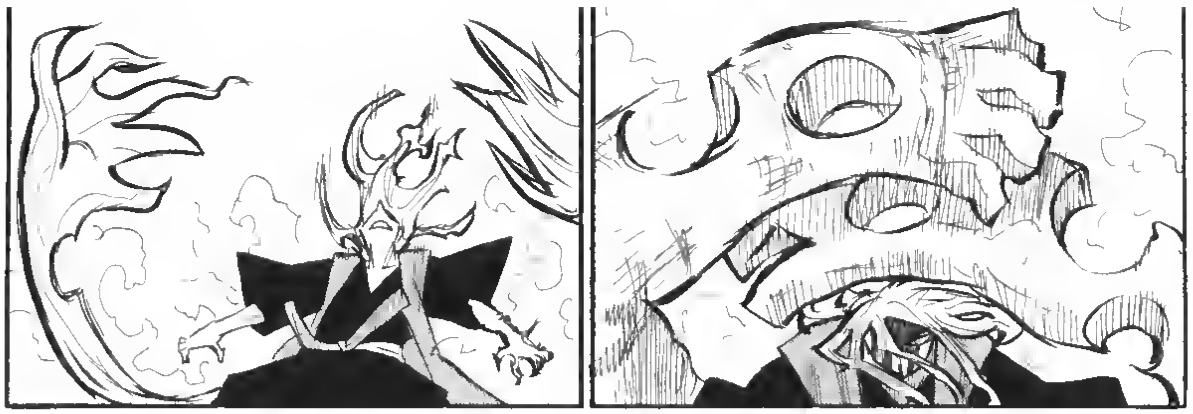
あれは…
あの時
山の神に植え
つけられた種か
……!?
ヌシ様の
霊気…!!

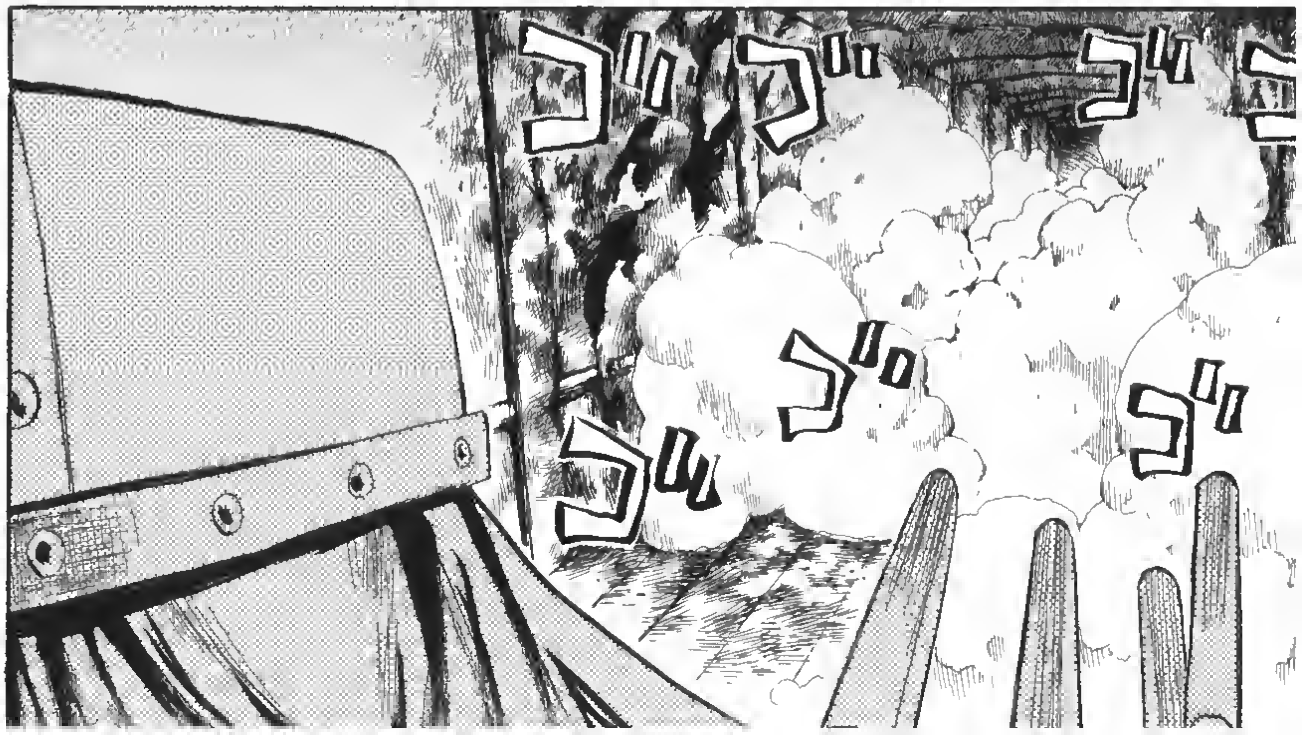
ががは!!
今のは
効いた…!!
霊気の魂の
腕か！
面白い
仕込みだな!!

別に
狙って仕込んだわけでは…
ようし!!
お返しにこちらも面白いものを見せてやろう!!
今はまだ見世物の域を出ん開発中の技だが
行くぞ
!!
ケハハハハ!!
行くぜ竹吉ィ!!
!!

千尋拳(せんじんけん)!!
轟震海(ごうしんかい)!!

迅火!!
迅火様!!



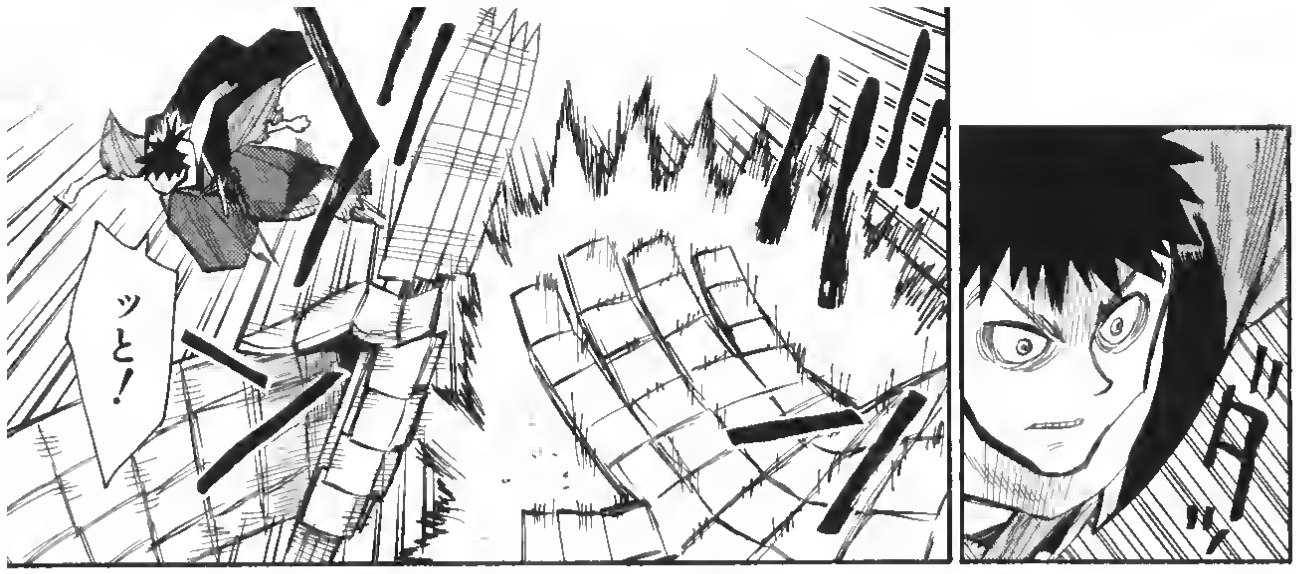


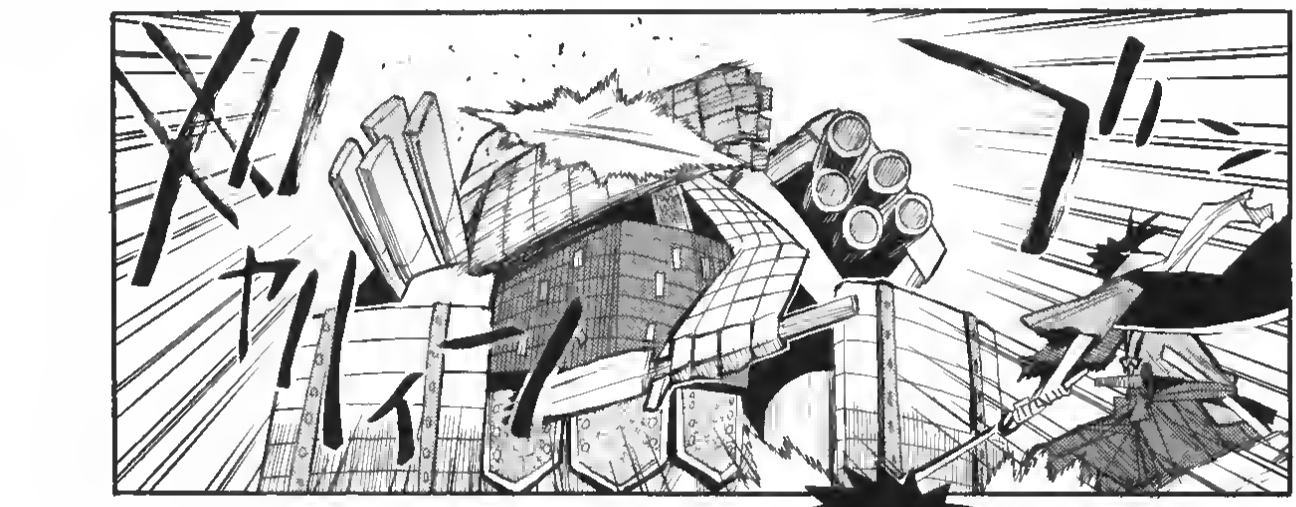
ケハハ
消し炭かァ!?
竹吉ィィィ!!
無駄にデカくなったな
バリー

第30回 迅火と道練

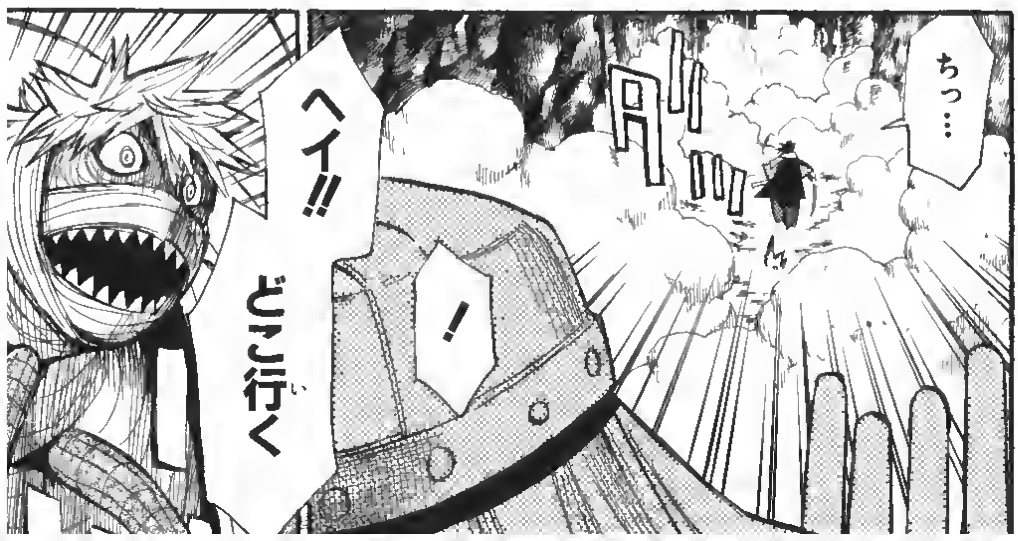
竹吉ィ
テメェ…
これで
二度目
だなァ
ダッドにも
殴られたこと
なかった
のによォ…
ダッド？
お望みなら
泣いて謝るまで
殴ってやるぜ
バリー
なぜ
拳など…
早く
斬らせろ…
血を！
血を!!
悪いな
つい

竹吉(たけきち)ィイイイ!!
バッ
ヤ
つらァ!!
ヤ
ヤ


ッと！


ヤバイ

…届かねーな
バカが…先の機会に拳など使わねば…


ヘイ!!
どこ行く
！

……
ちっ…

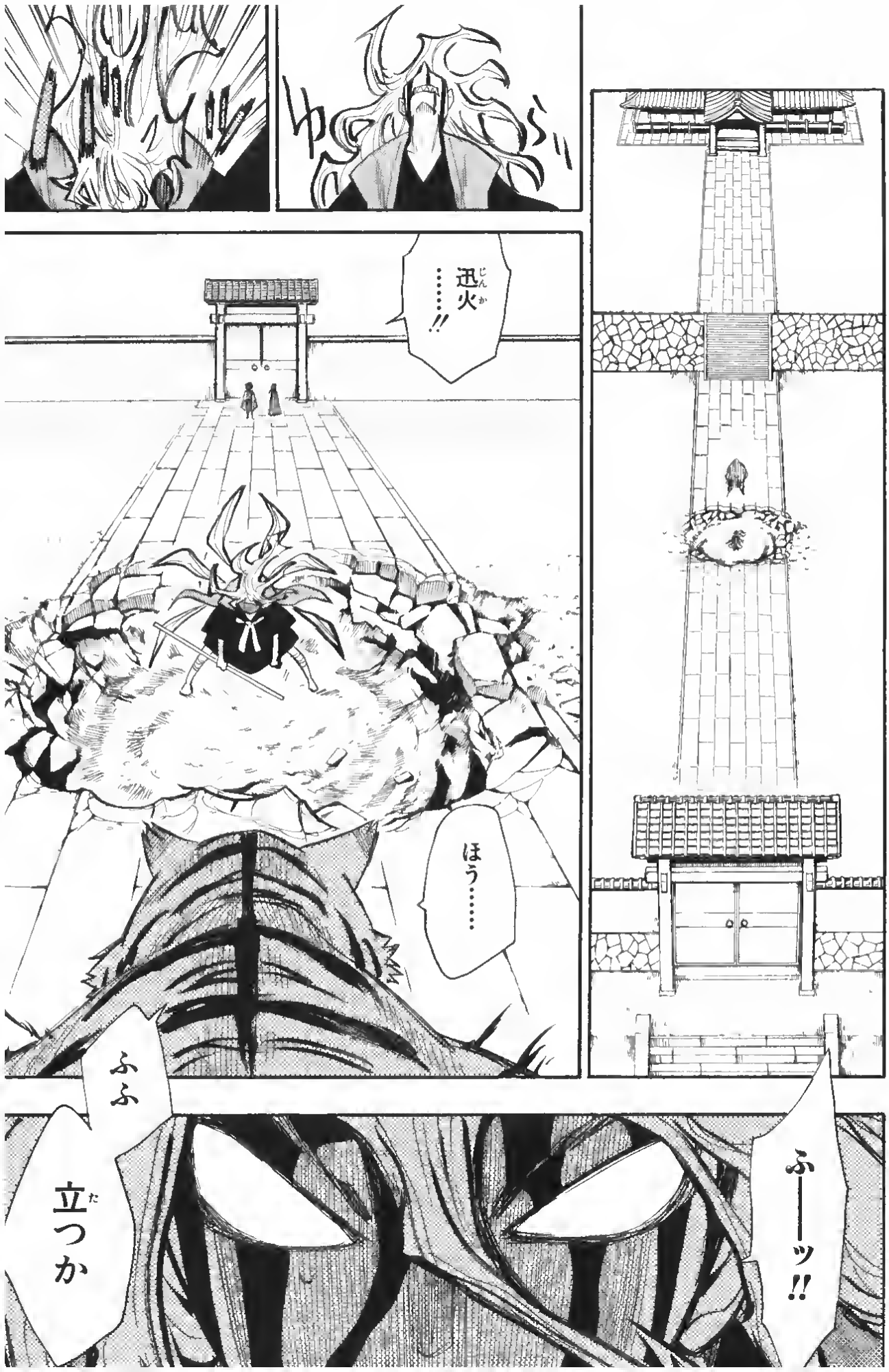
お前の地獄を探しに行くんだよ!!
来い!!

ケハハ!!
じゃあ一緒に探そうぜ!!
おれ達の地獄をよオオ!!

おれ達の地獄…
気が合う

おれ達は同じだ
怒憎に溺れる怒憎衛門
おれ達なんかよりも

おれが今まで見てきた闇達の方が——
よっぽど穏やかで人間らしい


迅火……!!
ほう……
ふふ
立つか
ふ――ッ!!

我が
千尋拳は
時と空間を揺らし
わずか一呼吸の間のみ
無数の拳筋の
可能性を
同時に存在させる
緻密な荒業!!
今はまだ
百ほどの
可能性しか
顕現できぬが
いずれは
八百万の拳で
雪崩のごとき
拳災に
練り上げて
みせよう

時と空間を
揺らす…!?
……えーと
自分の拳を
沢山魂寄せした
みたいな技かな
あー
聡いな
山烏
や
ど…
どうも…

なんだか
ハッキリ
しない…
頭に霞が
かかったようだ…
……
時と空間を扱う
霊術は難物だ
ここまで短時間と
短距離に絞っても
実現には苦労したぞ
二本足の
でっかい虎が
何か言ってる
ぐぬぬ
これはいよいよ
どうかして
きたな…
ええと……
何をするん
だっけ……
とりあえず
起きねば…
……覚醒…
？
なんだ
この凄い
霊気の塊
……
……手？
そうだ
これで頭の
霞を払えるかな

あ
わ
う
どっ
どこに手ェ入れてんだ
――ッ!?
あ
なんか入った…

…お？
お
なんか
スッキリ
してきた…
ズ
ズ
ズ
ズ
お…さすが
妖精眼…
何か見える…
ゴゴゴ
へー…
こうなってる
のか…
あわわわ
あ あいつ
何やって…
…うーん
お
おい…
…山戸迅火…？
！
！
ああ
なるほど
にゃあ
こうか
ビッ

ああ…
スッキリした…

じ…
迅火様の尾が…
ふ…増えた…
くく
こないだまで4本だった精霊態の尾も今や7本か
まるで崖から転落するかのごとき伸び盛りっぷり!!
迅火……!!お前は今何を見た?何をした?
ここ最近の急激な変化の連続…
何か…危うい領域に踏み出したのではないか…?
お待たせしました
では
おう
続きをしようか
ええ
終わらせましょうか
ふふふ
くくく

ぬあああ!!
ごッ…
!

なんという速さ…

見えなかった…

今度は風の尾か……!!

槍のごとき直線…

風神槍…とでもしましょうか

ヒュオオオオ

大した突進だ

だが

所詮は直線！不意を突くのは初見のみ!!

①

②

次は…お前が自ら我が拳に飛び込むだけ…その神速でな

来い

そろそろお開きにしてやろう…

ゾ

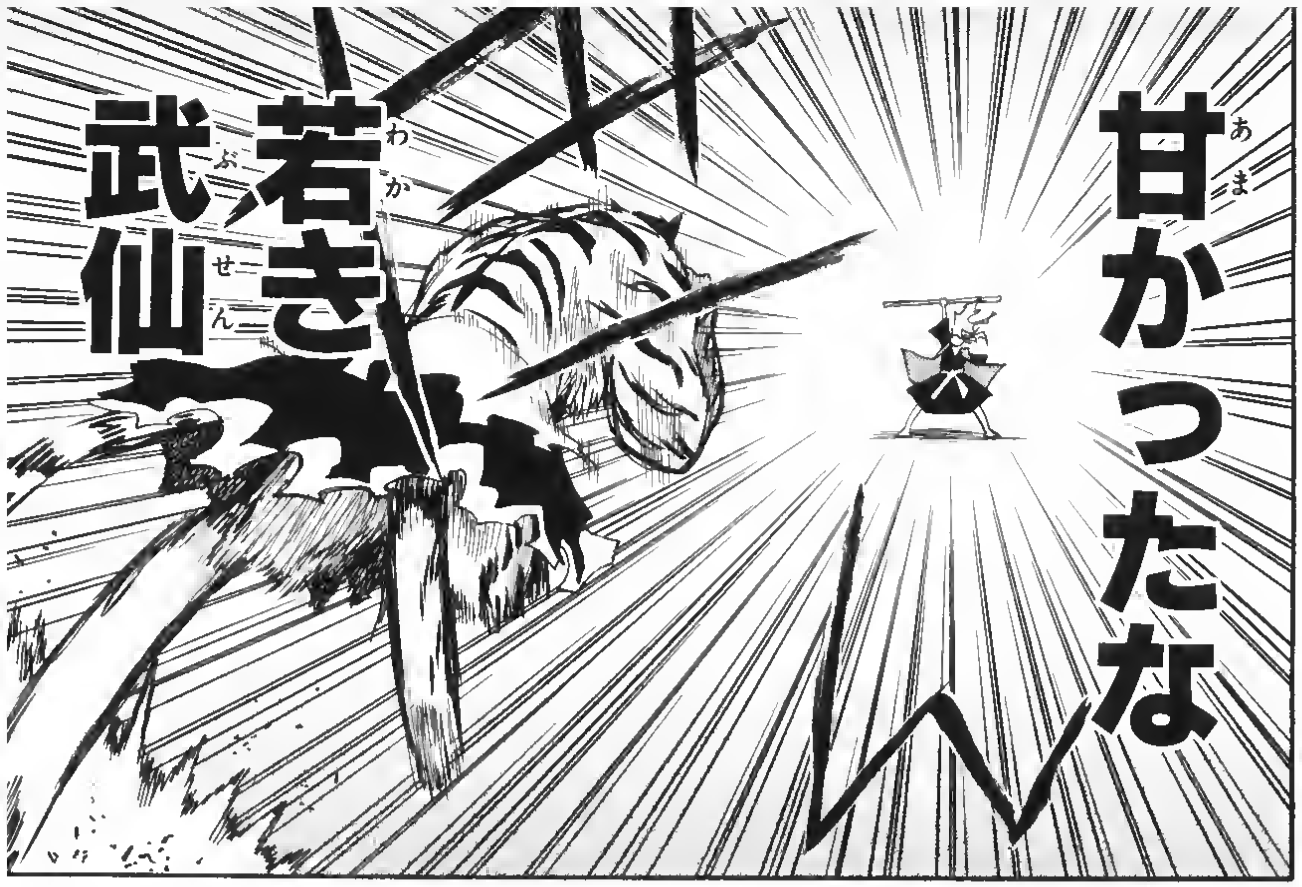
木火土金水
最大奥義
五行魂!!

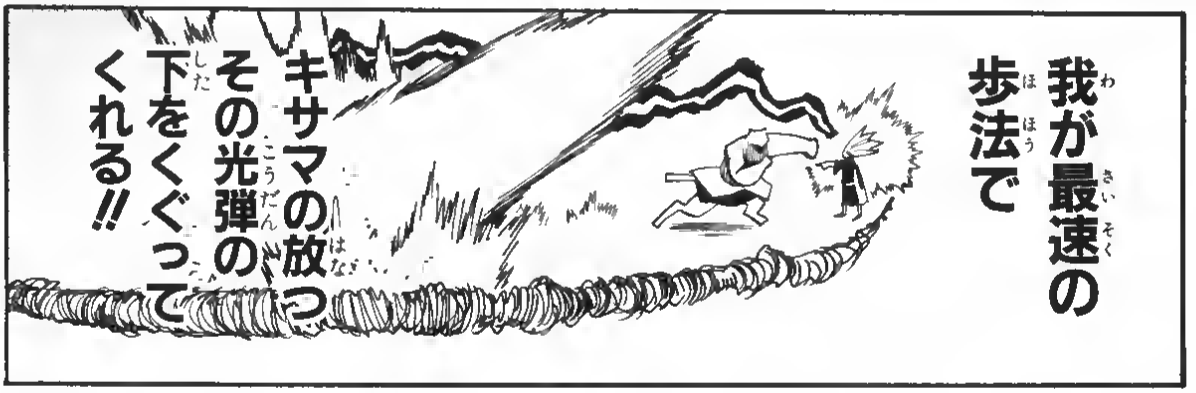
迅火……!!
次で決める気か…!!

風神槍ではない……!!
だがそんな只の大火力がワシに直撃ると…

雷と風の壁で道を!!
良い案だ他の者には通じただろうな

だがワシには通じぬ


甘かったな
若き武仙


我が最速の歩法で
キサマの放つその光弾の下をくぐってくれる!!

遅い!!
…その刹那

二人は
有り得ない
ものを
見た

見た

気がした

〝何か〟が通った

迅火と道錬の
存在などまるで

無きが如く
自然と

まばたきにも
満たぬわずかな
瞬間
二人の意識は
その異様の光景に
釘付けとなり
結果

既に技を放ち
着弾を待つのみ
だった迅火に対し
迅火よりも
手前に意識を
移した道錬が

不運を喰った

ゴゴゴ

これは…
勝った…
…のか…？
ふー…

適当に走ってきたが…
随分広い所だな
竹吉ィィ
探すより作る方が早ええぇ
もうここでいいだろォ
二人でここを
地獄に変えようぜぇ
ああそりゃあいい
行くぜ

戦国妖狐 5 おわり

戦国妖狐
第5巻

作画スタッフ
　とんぷ
　小林あべし
　石坂ケンタ
　蝶田じゅえる

タイトルロゴ
　赤羽美保

カバーデザイン
　行徳ゆみ(オン・グラフィクス)

担当編集
　宮本幸則

BLADE COMICS

戦国妖狐 ⑤

2010年11月25日初版発行

■著 者
水上悟志
©SATOSHI MIZUKAMI 2010
■発行人
保坂嘉弘

■発行所
株式会社マッグガーデン

〒101-8434　東京都千代田区神田神保町2-1　岩波神保町ビル6F
（編集）TEL：03-3515-3872　FAX：03-3262-5557
（営業）TEL：03-3515-3871　FAX：03-3262-3436

■印刷所
中央精版印刷株式会社

■装 幀
行徳ゆみ on Graphics

初出／月刊コミックブレイド2010年2月号～7月号

無断転載・上演・上映・放送を禁じます。
乱丁・落丁本はお取り替えいたします。
但し古書店で購入したものはお取り替えできません。
定価は表紙カバーに表示してあります。

ISBN978-4-86127-785-6　C9979

Printed in japan

本作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件等には一切関係ありません。

SENGOKU YOKO ⑤ SATOSHI MIZUKAMI